

別紙 1



ハ王子未来デザイン 2040

HACHIOJI
FUTURE
DESIGN

ハ王子市基本構想・基本計画

市長 あいさつ

目次

I N D E X

はじめに	03
------	----

基本計画

第1部 総論

1 みんなで目指す2040年の姿	07
2 重点テーマ・取組方針	23
(1) 未来の主役づくり	25
(2) 未来へのつながりづくり	29
(3) 未来に続く都市づくり	33
3 未来を拓く原動力	37
(1) 地域自治	38
(2) 共創	39
4 変革のキーワード	41
(1) デジタル・トランスフォーメーション (DX)	42
(2) カーボンニュートラル	43
5 これからの市政運営に当たって	45
(1) 経営方針	45
(2) 地域区分とまちづくり	46

第2部 各論

第1編	52
第2編	58
第3編	64
第4編	73
第5編	79
第6編	84

基本構想

1 基本構想の趣旨	91
2 まちづくりの基本理念	91
3 都市像（私たちが目指すまち）	92
4 都市像（私たちが目指すまち）実現のための基本方針	93

用語解説	100
------	-----

※冊子中、右上に「*」を付した用語の解説を50音順に記載

はじめに

市民の皆さんの声をもとに描いた「未来の八王子」の設計図

「八王子未来デザイン2040」は、八王子市が“どのような姿を目指して、何を行っていくのか”をまとめた本市の最上位計画です。

まちづくりをすすめていくためには、市民※と行政が力を合わせて取り組むことが大切です。

そのため、本計画は、多くの声をもとに描いた姿をみんなで共有し、取り組んでいくための「未来の八王子」の設計図として策定しました。

※市民とは… ここでは、本市に住む方に加え、働く方や学ぶ方、企業、大学、活動団体など多様な主体のこと。



市民の“思い”である「基本構想」を受け継いで

「八王子未来デザイン2040」は、「基本構想」と「基本計画」で構成しています。

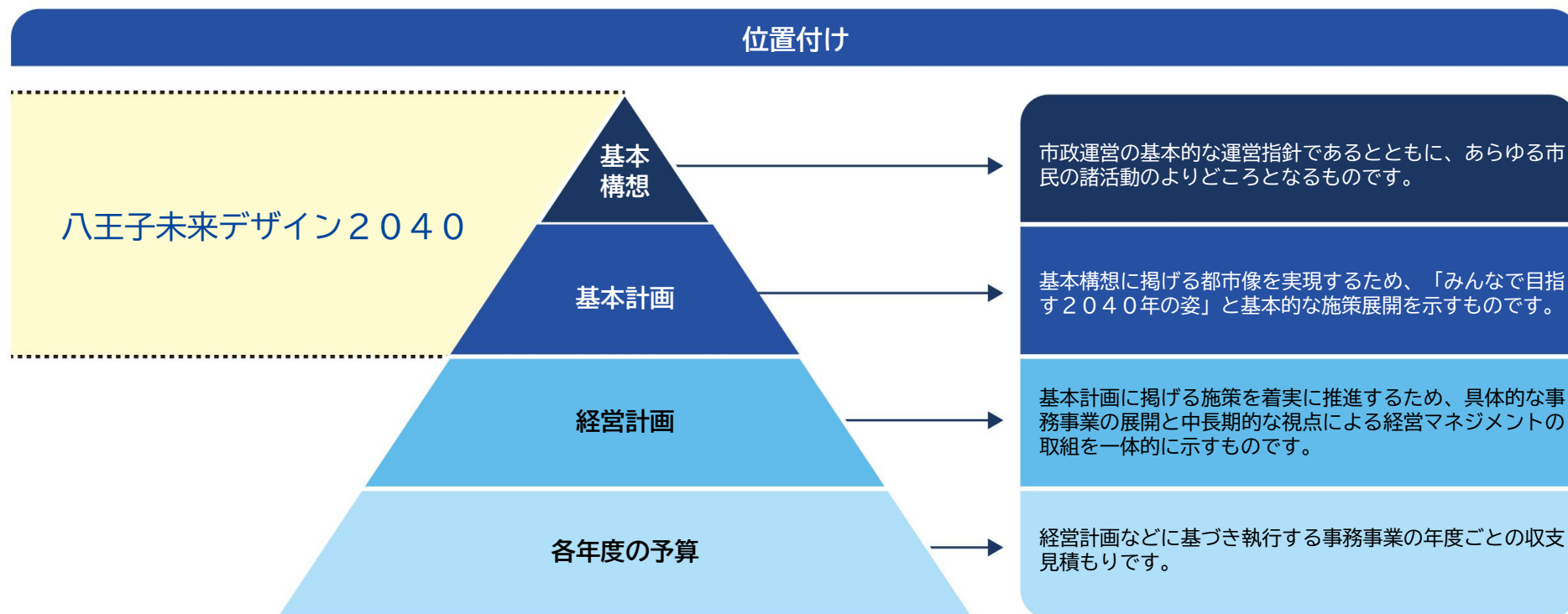
「基本構想」は、市政運営の基本的な運営指針であるとともに、あらゆる市民の諸活動のよりどころとなるものです。

「基本計画」は、基本構想に掲げる都市像を実現するために「みんなで目指す2040年の姿」と基本的な施策展開を示すものです。

「基本構想」は、市民184名で構成された市民会議から提出を受けた素案を踏まえて策定し、平成24年（2012年）12月に市議会にて全会一致で賛成可決されたものです。

「八王子未来デザイン2040」の策定に当たっては、「基本構想」は普遍的であることを意見聴取を通して確認したうえで、策定時の思いを受け継ぎ、「人とひとの支えあい、つながり」と市民・行政の互いの役割と責任ある行動による「協働」を柱とする「基本構想」を継承しています。

八王子未来デザイン2040の概要



本計画は、本市の最上位計画であり、「まち・ひと・しごと創生法」（平成26年法律第136号）第10条第1項にいう「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けます。また、本計画と整合・調和をはかったうえで、「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」（平成25年法律第95号）第13条にいう「市町村の区域における国土強靱化に関する施策の推進に関する基本的な計画（国土強靱化地域計画）」を策定しています。詳細は別冊（附属資料）58ページをご覧ください。

基本計画の計画期間

2040年を展望した「基本計画」の計画期間は、令和5年度（2023年度）から令和12年度（2030年度）までの8か年です。

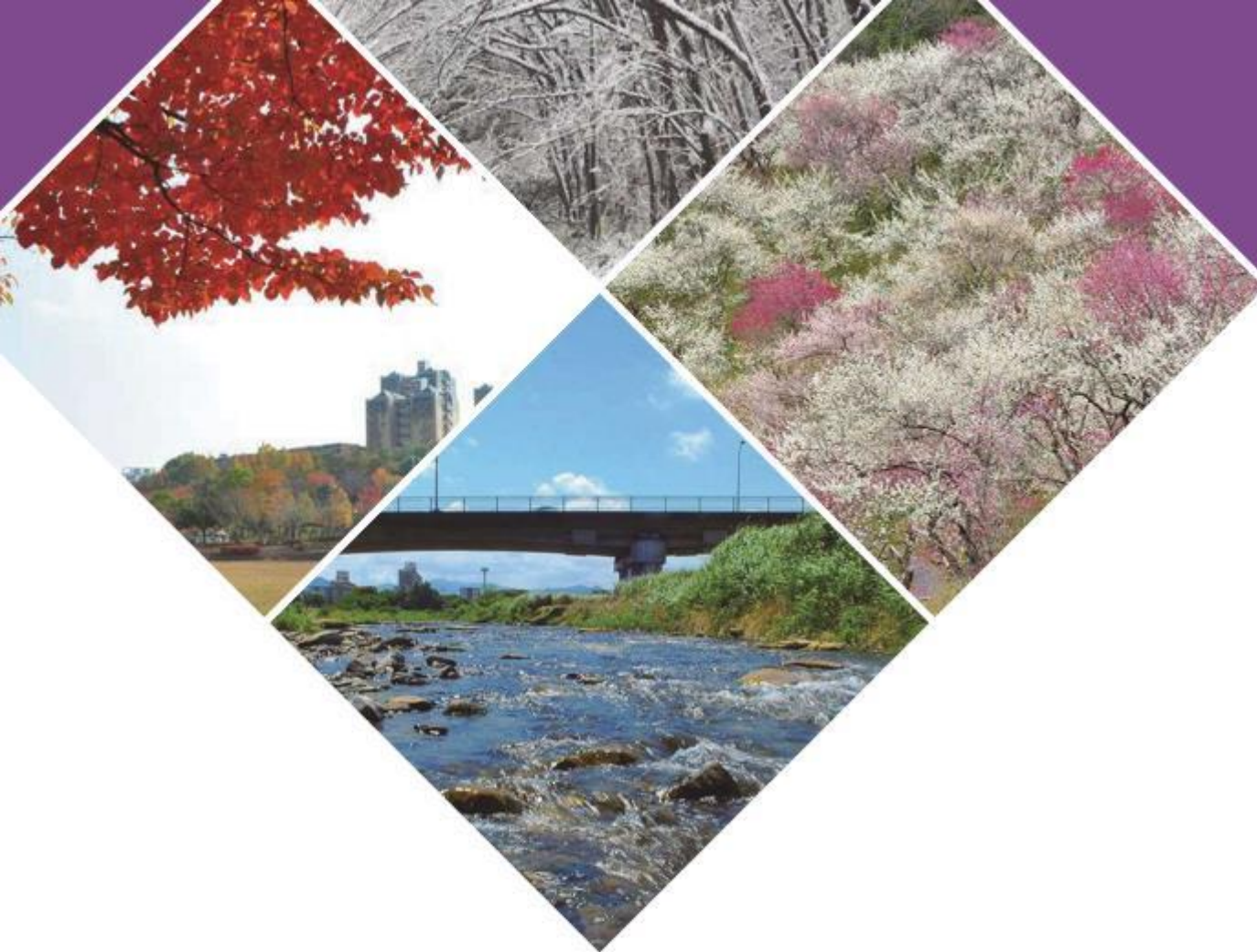
SDGs*との関係性

本市のまちづくりの基本理念「人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子」に基づき掲げる6つの都市像の実現に向けた取組は、SDGsの理念と方向性が一致しています。本市は、基本計画を推進することで、引き続きSDGsの達成に貢献していきます。

各施策とSDGsの各ゴールとの関係性は、各論の各施策ページで示しています。詳細は、別冊（附属資料）59～61ページをご覧ください。

計画の全体像





基本計画

第1部 総論



みんなで目指す2040年の姿

社会を取り巻く状況が劇的に変化し続けている中では、目の前の課題だけにとらわれず、長期的な視点を持ってすすむべき未来の方向性を定める必要があります。

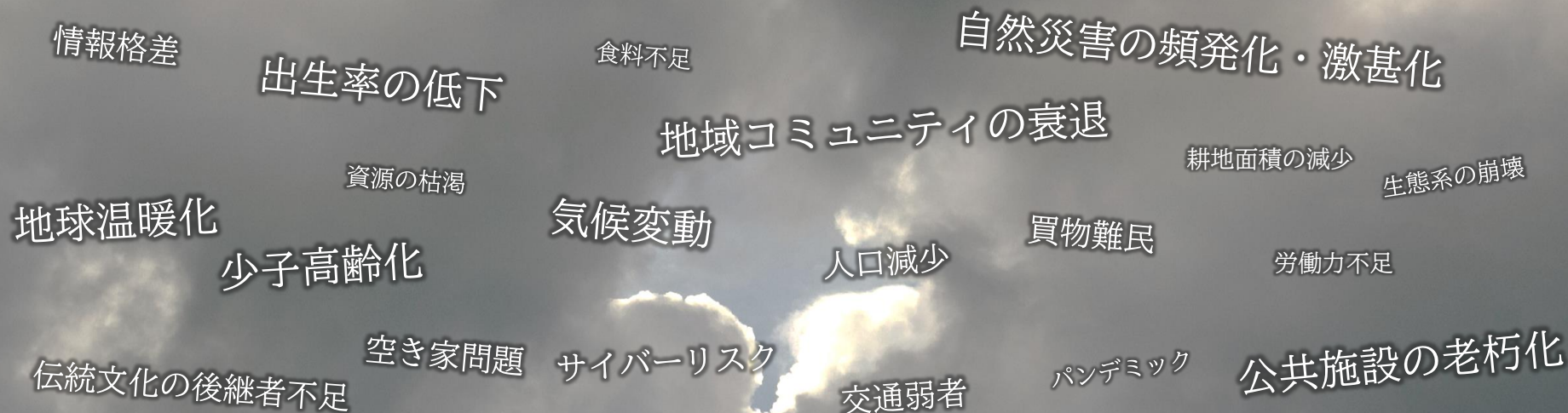
そのため、計画期間の先にある社会環境の大きな転換点となる2040年を展望し、2040年までの目標として、みんなで目指すわがまち八王子の11の姿を定めました。

目指す11の姿は、一人ひとりの市民が未来のことを考え、明確化した目標を共有しながら行動することができるよう、多くの市民の声を聴き、“市民の暮らしや理想の状態”として表現しています。

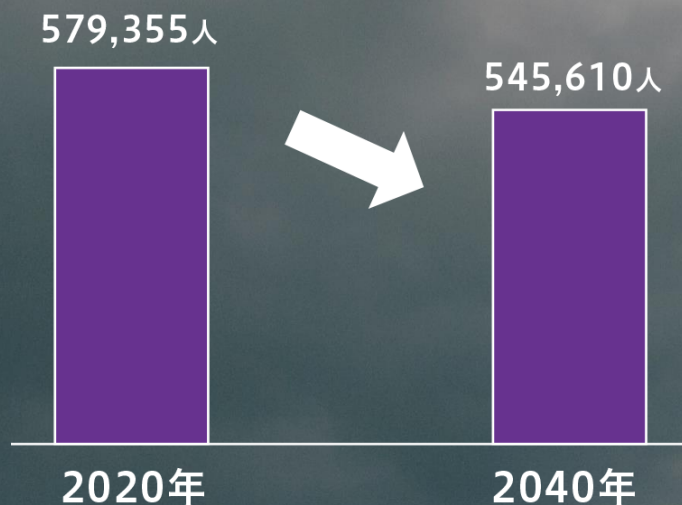
市民や企業、大学などと目標を共有し、様々な変化に柔軟に対応しながら協働のまちづくりをすすめることで、基本構想に掲げる「都市像」を実現していきます。

2040年を展望すると、厳しい社会環境の変化が見込まれ、 多くの課題が待ち受けています。

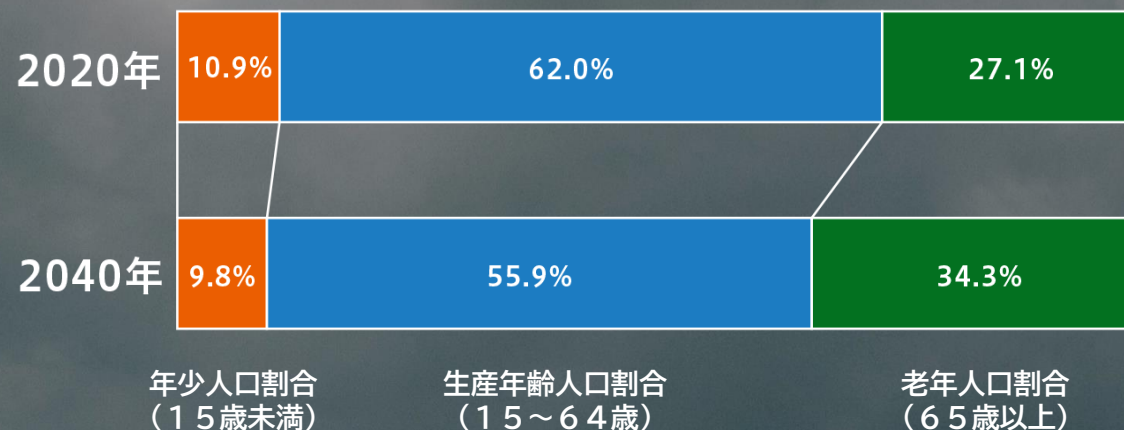
社会環境の変化や各分野の課題は、別冊（附属資料）に記載しています。



人口の減少



人口構造の変化



そのような中でも、
一人ひとりが未来のことを考え、みんなで行動を起こすことで、
心の豊かさを感じられる明るい未来をつくることができます。

ウェルビーイング

都市の
進化・発展

サステナビリティ

地域共生

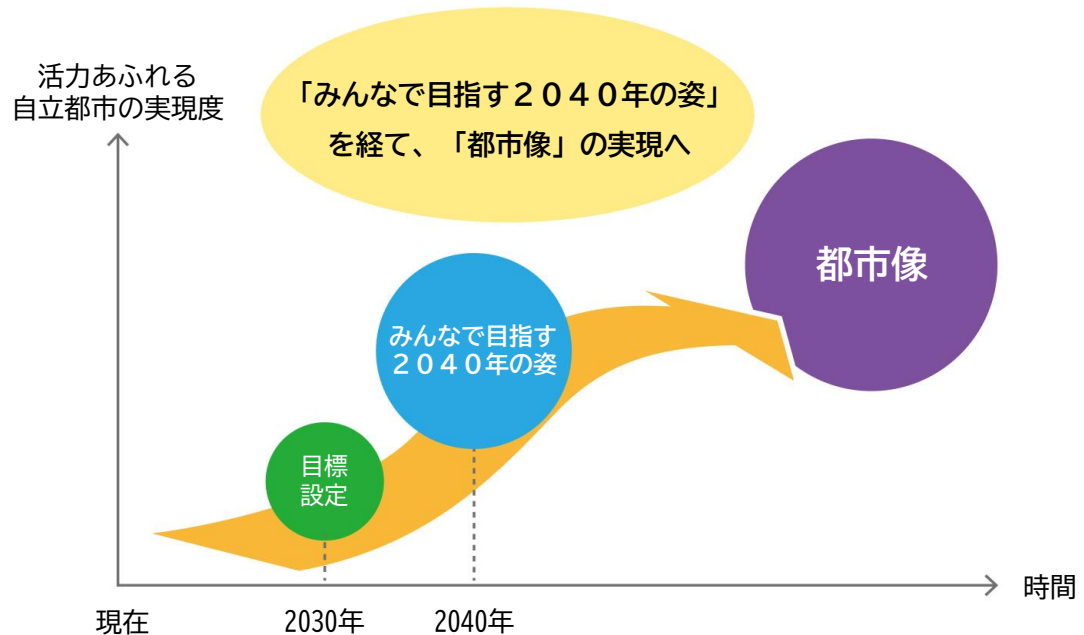
脱炭素

スマートシティ

自然との共生

みんなで目標を共有して
協働のまちづくりをすすめていくため、
約20,000人の声をもとに
11の姿を定めました。

各姿のページの「姿のもとになったみんなの声」及び「みんなのチャレンジ」は、
ワークショップやアンケート調査などの結果から抜粋したものです。
意見聴取の概要は、別冊（附属資料）に記載しています。



<基本構想に掲げる「都市像」と「みんなで目指す2040年の姿」との関係性>



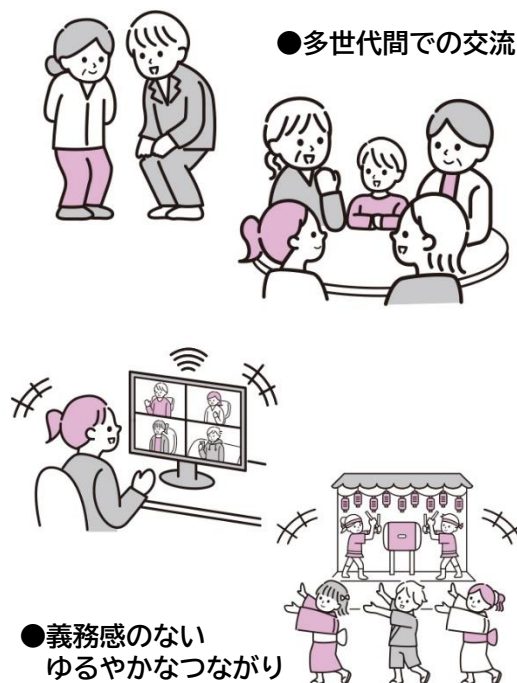
人とひと、人と地域など多様なつながりを実感し、 ほっとする住みよいまちをみんなで作っている。

もっとも
貢献するのは
都市像 1

地域に居場所が見つかる



人や地域とのつながりを感じている



みんなで地域をより良くしている



つながりから行動へ

姿のもとになったみんなの声

- 高齢者と子どもとの交流場所がある。（中学校区別ワークショップ（以下「WS」という。））
- 家庭内だけでなく、地域の方々とのかわりあいの中で笑顔が生まれる暮らし。（30～34歳）
- 互いに助け合える世の中になってほしい。（70～74歳）

みんなのチャレンジ

- 挨拶やボランティア活動など身近なことを市民みなで行っていききたい。（中学1年生）
- 世代を超えた人とのつながりを作って、安心感のある地域にしたい。（19～22歳）
- 元気で社会貢献、地域ボランティアなどを通じ楽しい生活を送る。（65～69歳）

住み慣れた地域で元気に年を重ね、 人生100年時代を生き活きと暮らしている。

健康生活を送ることができる

●日常生活が 健康につながる



●健康な食生活



●運動による 健康増進と交流



生きがいを見つけられる

●地域でのつながり、 支えあい

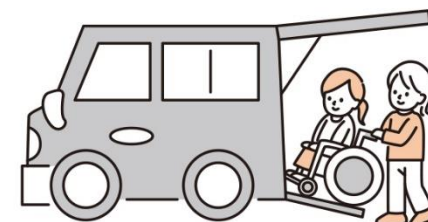


●社会参加

●活き活きとした生活



万全の体制で安心を実感できる



●介護・福祉・医療の充実

下
支
え

姿のもとになったみんなの声

- 高齢の方や病気の方など、八王子に住んでいる人みんなが楽しく幸せに暮らせるような未来。(中学1年生)
- 健康的な生活を送り、活き活きと働いたり活動したりしたい。(35~39歳)
- それぞれの居場所で、それぞれが健康に、やりがいのある仕事をして生活している。(34~39歳)

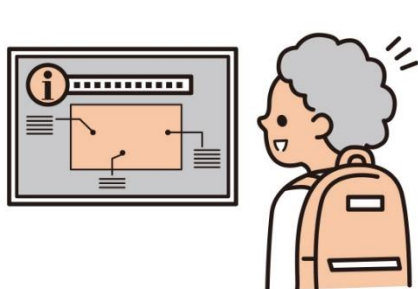
みんなのチャレンジ

- 健康でゆとりある老後に向け、健康貯蓄に励む。(35~39歳)
- 働き盛り世代のサポートをしながら、我々も生涯現役で働きたい。(55~59歳)
- 地域の人とコミュニケーションをとり、健康に暮らしていく。(60~64歳)

それぞれの個性を互いに認めあい、 それぞれが望むフィールドで活躍している。

もっとも
貢献するのは
都市像 **2**

自分の個性を発揮できる



●ユニバーサルデザイン*なまち



●心のバリアフリー*の浸透



●性別や国籍、障害の有無にかかわらず活躍

多様な文化にふれあえる



●多文化交流が生まれる

多様な視点



●より住みよいまちに

多様な視点

姿のもとになったみんなの声

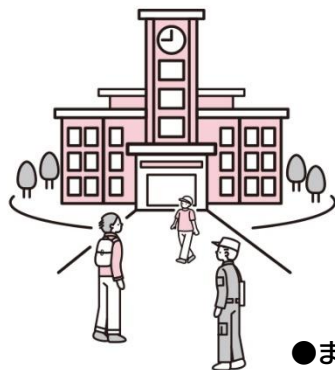
- 多様性があり寛容なまちになっている。(高校生WS)
- 小さい子からお年寄りまで、みんなが不自由なく個性や好きなことを尊重し合っていける八王子にしたい。(中学3年生)
- 全ての市民にとって、暮らしやすい街づくりを行いたい。(中学3年生)

みんなのチャレンジ

- 自分から挨拶をしたり、困っている人に「なにかお手伝いすることはないですか」と声をかけたりしたい。(中学1年生)
- 八王子市を「あなたのみちを、あるけるまち」のように、それぞれが多様性を認め合い、好きなことができ、好きなように生きられるようにしたい。(中学3年生)
- 若者が「出る杭」になれるよう、温かく色々な考えを見守りたい。自分のスキルを活用できるのであればうれしい。(40~44歳)

ワクワク感を持って、「やりたい！」に挑戦でき、 笑顔で自分のみちをあゆんでいる。

自分の“学びたい”が叶う



●まち全体が学びのフィールド



●生きる力が身に付く



●生涯学習が育む
生きがいとつながり

存分に知識や能力を発揮できる

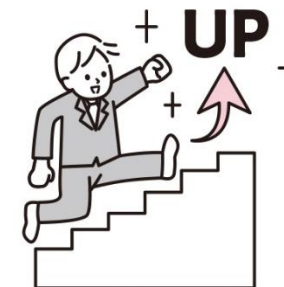


●知識・スキルを地域で活かせる



●生涯現役

望む働き方を選べる



●リカレント教育でキャリアアップ



●副業・兼業が身近に

姿のもとになったみんなの声

- 一人ひとりが、自分の夢に向かい、歩み続けられるまちになってほしい。(中学1年生)
- 様々な経験ができ、自分の可能性や個性を活かせる場所を見つけられるまちがいい。(中学2年生)
- 頑張っている人、頑張ろうとする人にチャンスが与えられる社会になってほしい。(25～29歳)

みんなのチャレンジ

- 地域全体で子どもの学習や遊びを支援する。(中学校区別WS)
- 農園をつくり地産地消を！(中学校区別WS)
- 野球などスポーツの楽しさを教えたい。(19～22歳)
- 生涯現役で働きたい。これからは、社会貢献も考えながら働きたい。(55～59歳)

子どもの幸せをみんなでわかちあい、 安心と喜びを持って子育てしている。

もっとも
貢献するのは
都市像 **3**

安心とつながりの中で子育てできる



●子育て世代同士の交流



●育児と仕事の両立

●充実した子育て支援

地域に見守られている



●地域内の居場所



●地域住民の協力

子どもが健やかに育つ



●子どもの笑顔でみんなが元気に

姿のもとになったみんなの声

- 子育てと仕事などを両立しやすいような助け合えるまちにしていこう。(中学3年生)
- 子育て支援が充実していて、子どもの可能性を広げられる。(23~24歳)
- 安心して、産み育てられるための伴走者として頑張りたい。(35~39歳)

みんなのチャレンジ

- 子どもたちが選ぶ住みたいまちランキング第1位にしたい。(中学2年生)
- 教育をもっと充実させ、小学校・中学校・高校・大学のつながりを強くする。(中学3年生)
- 子育てをしながら楽しく暮らしていきたい。(30~34歳)

一人ひとりが高い防災意識を持ち、互いに支えあいながら、 強さとしなやかさをを持ったまちで安心して暮らしている。

一人ひとりが災害に備えている



- 食料品の備蓄や
避難場所の確認など

いざという時に助け合える

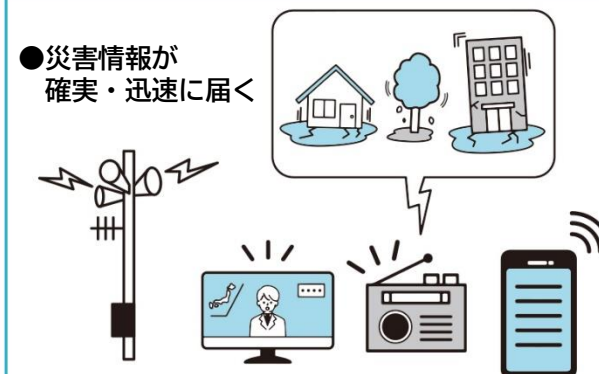


- 近所の人と交流



- 地域での防災訓練

災害に強いまちで安心して暮らせる



- 災害情報が
確実・迅速に届く

- 災害に備え、先端技術やみどりの機能を活用



姿のもとになったみんなの声

- 災害に強いまちになっている。（中学校区別WS）
- 自然との共生を推進している自治体になっている。（中学校区別WS）
- 市民同士のネットワークが充実している。（懇談会）

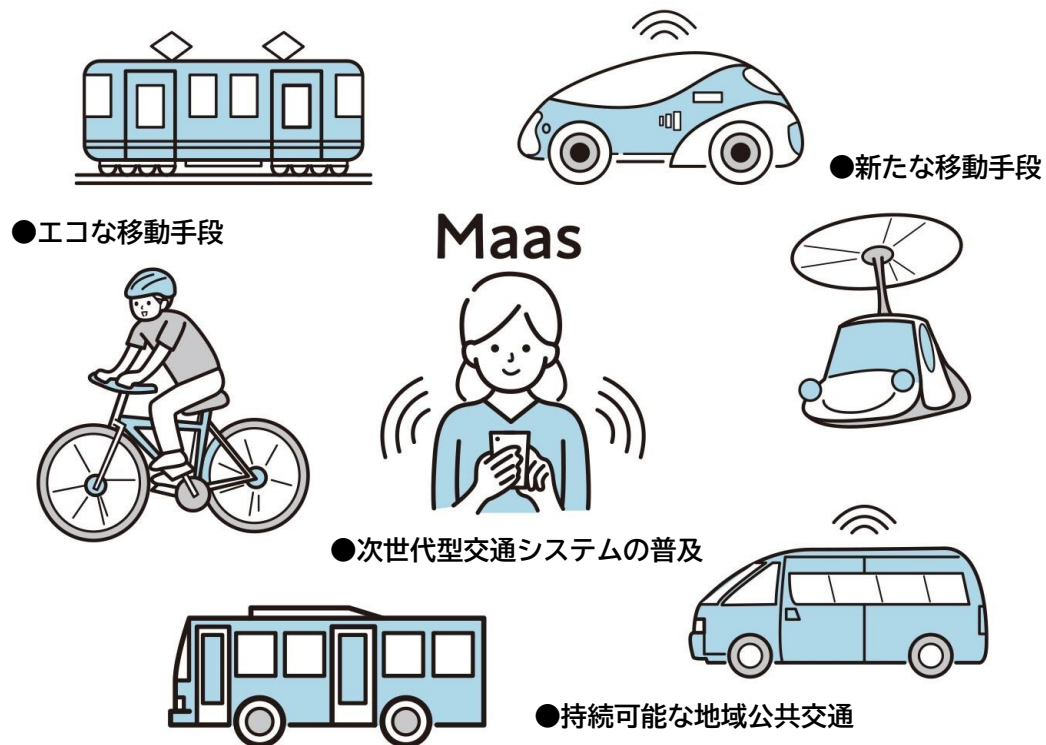
みんなのチャレンジ

- 防災意識の向上、避難訓練への参加。（パブリックコメント）
- 地域の人々と、自然災害が起きたとき協力できるようにしたい。（中学2年生）
- 訓練に参加し災害時に備える。（80歳以上）

行きたいときに、行きたいところへ簡単にアクセスでき、 快適な生活を送っている。

もっとも
貢献するのは
都市像 4

自分に合った移動手段を選ぶ



まちをあるきたくなる



姿のもとになったみんなの声

- 公共交通を充実させ、高齢者の活躍の場が拡大されている。(中学校区別WS)
- 電動シェア・サイクルやレンタル・サイクル等、地域内の移動手段が整備されている。(中学校区別WS)
- 自然豊かで、かつ交通の便が良い地域で、子どもからお年寄りまで快適に過ごすことができる。(23～24歳)

みんなのチャレンジ

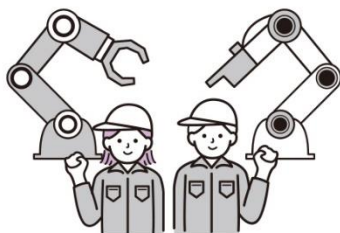
- 市民と行政が連携してまちづくりを行いたい。(中学校区別WS)
- 交通事故の起こらない安全なまちにする活動を行いたい。(中学2年生)
- 住み続けたい、市外からも来たいと思われるようなきれいなまちを心掛けたいので、清掃活動に力を入れたい。(中学3年生)

地域産業のイノベーションによって、 より豊かな生活を享受して暮らしている。

ビジネスチャンスをつかめる



●イノベーションの創出



●より元気な基幹産業

●新たなビジネス
START UP!



暮らしの豊かさを感じる



●魅力的なお店に出会える



●新たな
サービス

働く環境が整っている



●自由な働き方



●多様な人材が活躍

姿のもとになったみんなの声

- 大学と企業が連携した就職マッチングの仕組みが構築されている。(中学校区別WS)
- 新規事業や起業しやすい環境が整備されている。(高校生WS)
- 学園都市の特性を活かし、産学官が連携している。(大学生WS)

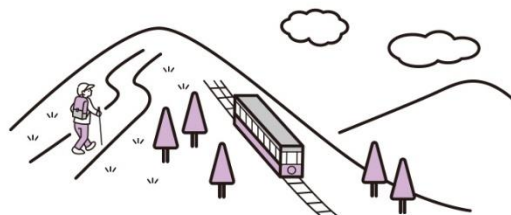
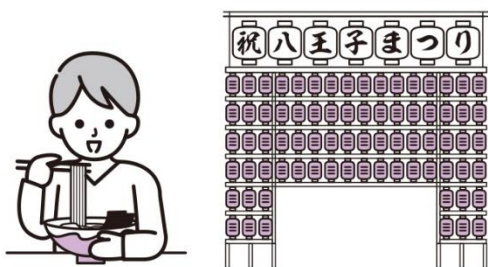
みんなのチャレンジ

- このまちの良いことを伝え、企業を呼び込む。(中学2年生)
- 結婚して子育てと仕事を両立させたい。(19~22歳)
- 多様な働き方に取り組みたい。(40~44歳)

お気に入りの「ふるさと八王子」の魅力を発信し、 世界が「Hachioji」の魅力を体感している。

もっとも
貢献するのは
都市像 **5**

八王子が大好きになる



●地域の魅力の発見・郷土愛の向上

魅力発信により八王子ファンが増加する



●魅力の発信



●世界が注目

まちの魅力が向上する



●観光客でまちがにぎわう



●多くの人が八王子にかかわる

好循環

姿のもとになったみんなの声

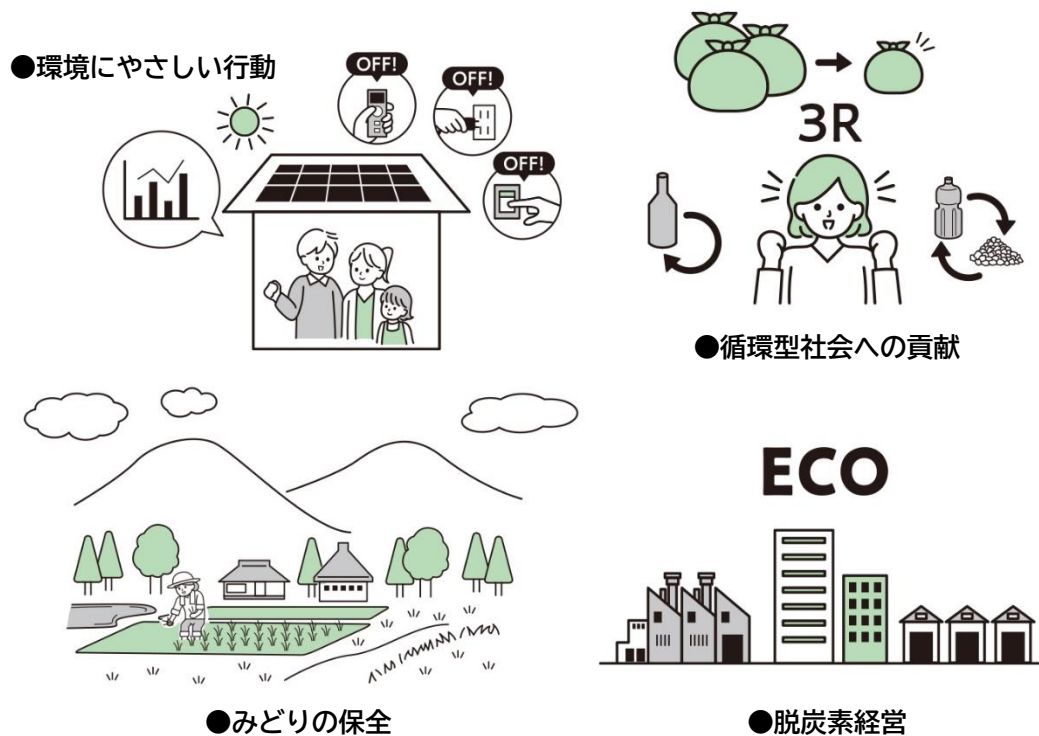
- 郷土愛やシビックプライドの意識が醸成され、高まっている。(高校生WS)
- 今ある文化を沢山の人が受け継ぎ、明るい未来に向けて地域の人たちと一緒に八王子の活性化に携われる、そんなまちにしたい。(中学3年生)
- 八王子のことが好きな人、知っている人が多くなっていると嬉しい。(45～49歳)

みんなのチャレンジ

- 海外にも八王子の魅力を伝えていきたい。(中学2年生)
- 八王子の良いところを、胸を張って広められるように、八王子市のことについて詳しくなる。(中学2年生)
- 八王子の車人形や祭りなどを後世に残したい。(65～69歳)

地球規模で考え、地域で実践し、 環境負荷ゼロのまちを目指しながら暮らしている。

みんなが環境に配慮している



豊かな環境を次世代に引き継げる



一つひとつの積み重ね

姿のもとになったみんなの声

- 豊かな自然を強みにしたまちになっている。(大学生WS)
- SDGsや環境問題など、小さいうちから課題を認識できる機会があると良い。(懇談会)
- 地球温暖化の進行を防止するために、八王子の自然環境をもっと豊かにし、八王子をよりよいまちにしたい。(中学2年生)

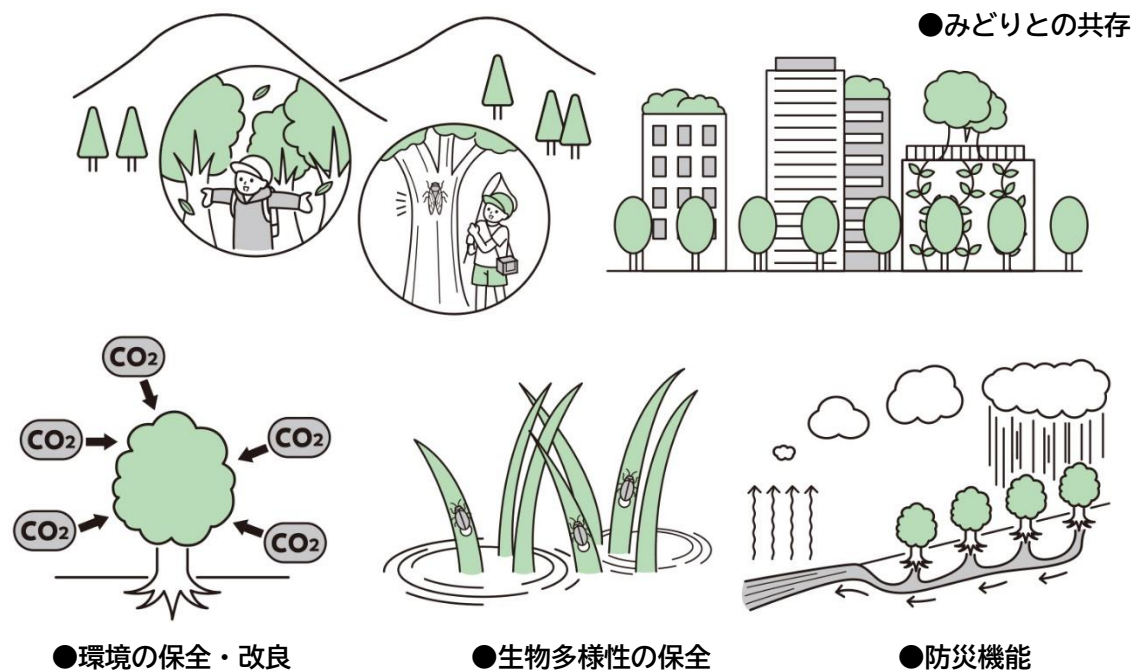
みんなのチャレンジ

- 身近な自然にふれあうことで環境保全に興味を持つことができる活動などを行う。(中学校区別WS)
- ごみの分別やエコバックの利用を続けていきたい。(中学2年生)
- ごみを減らす、不要なものは作らないことなどを心掛ける。(16～18歳)

自然と調和したまちで、みどりあふれる美しい空間を 満喫しながら心豊かに暮らしている。

もっとも
貢献するのは
都市像 **6**

みどりの機能を活かし、その恵みを受けている



八王子の農産物があふれている



姿のもとになったみんなの声

- 都市部と自然が共存したまちになっている。(高校生WS)
- 農家などの生産者との距離が近く、地産地消の考え方が根付いている。(大学生WS)
- 子どもに自然体験をさせてあげたい。(23～24歳)

みんなのチャレンジ

- ボランティアなどを通じ八王子の豊かな自然を残して、後世に引き継いでいきたい。(中学1年生)
- 自然を保護して、植物や動物との共生を目指したい。(中学3年生)
- 河川を大切にしたい。都内でこれほど豊かな川に恵まれているのは珍しい。(30～34歳)

コラム



2

重点テーマ・取組方針

厳しい社会環境の変化が見込まれる中、「みんなで目指す2040年の姿」を実現するため、令和12年度（2030年度）までに重点的・分野横断的に取り組む内容として、「重点テーマ・取組方針」を定めました。

「重点テーマ」として、(1)未来の主役づくり、(2)未来へのつながりづくり、(3)未来に続く都市づくりを掲げます。各テーマにそれぞれ3つの「取組方針」を定め、分野横断的な視点から取組を選択し、限りある経営資源（ヒト・モノ・財源・情報）を集中して投資します。

取組方針に基づく分野横断的な視点による

取組の選択について

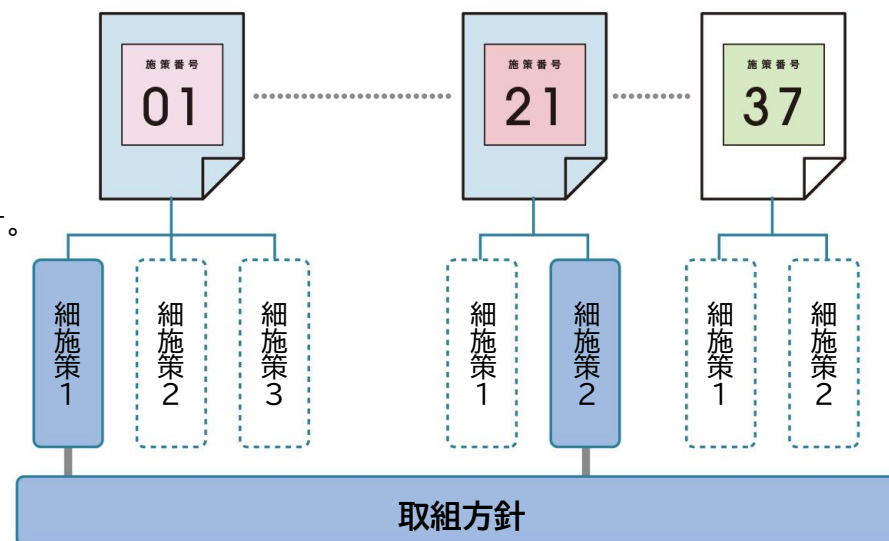
「取組方針」には、令和12年度（2030年度）までの数値目標を設定し、その達成に貢献する「細施策※」を分野横断的に関連付けます。

※「細施策」とは、52ページからの各論で示す分野別の施策に掲載している取組です。
取組方針に関連付けた細施策には、重要業績評価指標（KPI）を設定し、進行管理を行っていきます。
重要業績評価指標（KPI）の一覧は別冊（附属資料）に掲載しています。

取組方針による

細施策の関連付けのイメージ

- 37ある施策の下に、それぞれ1つから5つの細施策があります。
- 取組方針に実線で囲んだ細施策を関連付けています。





重点テーマ

(1) 未来の主役づくり

八王子の未来を担うのは、子どもから高齢者までの一人ひとりの市民です。一人ひとりがまちの主役となるためには、児童・生徒の知・徳・体をバランスよく育む教育をはじめ、年齢にとらわれず学ぶ機会や社会参画できる機会、そして、健康の維持・増進につながる環境が必要です。

また、誰もが周囲の人々との支えあいのもと、つながりがある暮らしの中で自分のみちをあるけるようになり、ゆるやかな社会参加を通じて一人ひとりが支える側にもなっていくことで、心の豊かさや生きがいを実感していくことができます。

市民と行政がともに行動し、協働をすすめることで、個人の成長に加え、地域の未来にもつながる好循環を生み出し、地域コミュニティの活性化、地域や八王子への愛着や誇りの醸成につなげていきます。

地域全体で子育てを支えるとともに、
切れ目のない質の高い教育を通して、
未来を担う子どもの「生きる力」を育みます。

■数値目標（2030年度）

■ 現在、夢や目標を持っている児童・生徒の割合

小学生 調整中 → 100%
中学生 調整中 → 100%

■ 安心して子育てができるまちと感じている市民の割合

55.9% → 70%
(2022年度)

■ 1年以内に子どもやその保護者とともに行う活動に参加した市民の割合

24.5% → 40%
(2022年度)

◆主な取組（細施策）

■重要業績評価指標（KPI）／目標値（2030年度）

施策番号 -- 細施策番号

◆施策13-2 子ども・若者の居場所づくり

■地域に居場所があると感じている子ども・若者の割合

64.7% → 75%
(2022年度)

◆施策15-1 確かな学力を育む教育の推進

■習得目標問題の定着率

小学生 -% → 100%
中学生 -% → 100%

◆施策11-3 母子保健の充実

■子育てを支える環境が整っていると感じている子育て世帯の割合

54.3% → 70%
(2022年度)

◆施策16-1 家庭・地域の力を活かした教育の充実

■学校と地域が連携して行う取組数

38,149件 → 62,700件
(2021年度)

重点テーマ

(1) 未来の主役づくり

取組方針 イ

多様な学びの機会を創出し、誰もが働きやすく、
社会参加できる環境を整えることで、
一人ひとりの「自己実現力」を育みます。

■数値目標（2030年度）

- 誰もが学び、学んだことを活かせる環境が整っている
まちと感じている市民の割合

40.0% → 60%
(2022年度)

- 誰もが活躍できる環境が整っているまちと感じている市
民の割合

30.0% → 50%
(2022年度)

◆主な取組（細施策）

■重要業績評価指標（KPI）／目標値（2030年度）

◆施策18-1 学びの環境づくり

■生涯学習活動をしている市民の割合
55.0% → 80%
(2022年度)

◆施策7-3 男女共同参画の推進

■社会全体で性別による固定的な役割分担意識に基づく制度又は慣行が
なくなり、一人ひとりの個性や能力を発揮することができている市民の割合
33.8% → 40%
(2022年度)

◆施策10-1 地域で安心して暮らすための支援の充実

■65歳健康寿命
男：83.79歳 → 延伸
女：86.66歳
(2021年度)

◆施策29-2 働く機会の創出

■昼夜間人口比率
99.1% → 100%
(2020年度)

日常生活の中で健康になれる環境と地域医療体制を整備するとともに、セルフケア能力を高める支援を通して、一人ひとりの健康を育みます。

■数値目標（2030年度）

■ 健康のために「こころと身体にいいこと」をしている市民の割合

89.4% → 95%
(2022年度)

■ 安心して医療を受けられるまちと感じている市民の割合

69.2% → 85%
(2022年度)

■ 居心地がよくあるきたくなるまちと感じている市民の割合

59.6% → 75%
(2022年度)

◆主な取組（細施策）

■重要業績評価指標（KPI）／目標値（2030年度）

◆施策11-1 健康づくりの推進

■健康の維持・増進を心掛けている市民の割合

<適度な運動>	61.7% → 70%
<食事などの栄養バランス>	57.1% → 70%
<各種定期健診（検診）の受診>	49.0% → 60%

(2022年度)

◆施策19-1 スポーツ・レクリエーションの振興

■週1回以上運動している市民の割合

65.9% → 75%
(2022年度)

◆施策12-1 地域医療連携体制の強化

■中核病院新規外来患者数における紹介率

81.0% → 83%
(2021年度)

◆施策22-1 計画的なまちづくり

■八王子市を「居心地の良い場所」「訪れて楽しい場所」と感じている市民の割合

82.1% → 90%
(2022年度)



重点テーマ

(2) 未来へのつながりづくり

今日、市民ニーズや地域課題、社会課題は多様化・複合化しており、これまで以上にきめ細かい対応が求められています。そのため、地域共生社会*の実現に向けた地域づくりを推進していくとともに、様々な関係機関との連携を強化・創出していく必要があります。

また、人口減少社会では、市民の郷土愛を育み、本市に住み続けてもらうことに加え、観光などで訪れる交流人口や、本市に魅力を感じ、地域と多様な形でかかわる関係人口*を増加させていくことも重要です。

本市にかかわる仲間とともに、地域づくりをはじめ、地域資源を活かしたまちづくりを市民と行政が互いの役割と責任により推しすすめ、未来へつなぐ地域の活性化をはかります。

多様かつ複合化した地域課題の解決に向け、
市民力・地域力をもとにして、地域が主体的に支えあえる
「地域づくり」を推進します。

■数値目標（2030年度）

- 地域に人とひととのつながりがあるまちと感じている市民の割合

28.4% → 60%
(2022年度)

- 身近な場所に困りごとを相談できる人がいる市民の割合

67.2% → 85%
(2022年度)

◆主な取組（細施策）

■重要業績評価指標（KPI）／目標値（2030年度）

◆施策1-1 地域づくりの推進

■地域づくり推進会議を設置している中学校区数
4校区 → 全37校区
(2022年度)

◆施策9-1 地域で支えあえるつながりづくり

■はちまるサポートの認知度
11.4% → 50%
(2022年度)

◆施策13-2 子ども・若者の居場所づくり

■子ども食堂や学習支援団体など、八王子市地域子ども支援事業の登録団体がある中学校区数
20校区 → 全37校区
(2021年度)

◆施策30-5 地域・社会課題解決型ビジネスの創出

■ソーシャルビジネス・コミュニティビジネス*相談件数
-件 → 30件

重点テーマ

(2) 未来へのつながりづくり

取組方針 イ

日本遺産をきっかけとして、桑都文化を磨き上げ、
地域活動や地域の産業・経済の活性化をはかるほか、
豊富な資源を活用した地域主体の観光まちづくりを推進します。

■数値目標（2030年度）

- 日本遺産や歴史文化など地域資源を活用した地域主体の活動に参加した市民の割合

12.7% → 35%
(2022年度)

- 自分のまちの魅力を、家族・友人・知人におすすめしたいと思う市民の程度（推奨意欲スコア）

48.2ポイント → 55ポイント
(2022年度)

- 観光客数

424万人 → 1,000万人
(2020年度)

◆主な取組（細施策）

■重要業績評価指標（KPI）／目標値（2030年度）

◆施策21-2 歴史文化・日本遺産の魅力発信

- 1年間のうちに伝統行事に参加したことの市民の割合

22.3% → 50%
(2022年度)

◆施策22-4 都市景観の形成

- 八王子の景観への市民評価度

53.1% → 60%
(2022年度)

◆施策31-3 観光地域づくりの推進

- 観光ポータルサイトアクセス数

49,889件 → 100,000件
(2021年度)

◆施策31-4 MICE*誘致の強化

- MICE開催による経済波及効果

約19.3百万円 → 400百万円
(2021年度)

豊かな産業資源の優位性や学園都市としての知の集積を活かし、
産学官民連携で革新的なイノベーションによる
価値創造を目指します。

■数値目標（2030年度）

■ イノベーション実現企業率

30.2% → 40%
(2019~2021年)

■ 付加価値額

1,080,425百万円 → 現状以上
(2016年)

◆主な取組（細施策）

■重要業績評価指標（KPI）／目標値（2030年度）

◆施策2-2 学園都市づくりの推進

■産産・産学連携による共同研究開発数

－件 → 109件（累計）

◆施策29-3 産業人材の育成

■生涯学習活動をしている市民の割合

55.0% → 80%
(2022年度)

◆施策30-1 共創による新たなビジネスの創出

■公民共創プロジェクト組成件数

－件 → 38件（累計）

◆施策30-2 イノベーション拠点の形成

■産産・産学連携による共同研究開発数

－件 → 109件（累計）



重点テーマ

（３）未来に続く都市づくり

本市は、豊かな自然環境、地理的優位性と交通の利便性に恵まれ、大学や産業が集積する首都圏西部の中核都市として発展を続けてきました。

今日、人口減少・少子高齢化の進行や頻発化・激甚化する自然災害、地球規模での環境問題の深刻化など、本市を取り巻く社会環境は大きく変化しています。

このような状況下では、自然環境とのかかわりを踏まえながら、公共施設・公共交通などのハード（モノ）と自助・互助・共助・公助の連携などのソフト（ヒト）の両面から豊かさと安心を実感できる都市づくりを推進していく必要があります。

市民の安全・安心につながる強靱なまちづくりを推進するとともに、都市の快適性の向上、地域経済発展に資する産業振興、環境への配慮、自然との調和に向け、次世代に引き継いでいくことのできる、持続可能な都市を形成していきます。

自助・互助・共助・公助の連携強化をはかるとともに、
自然や先端技術を活用し、災害の脅威から市民の命を守る
強靱なまちづくりを推進します。

■数値目標（2030年度）

■ 災害に強いまちと感じている市民の割合

37.5% → 65%
(2022年度)

■ 地域に人とひととのつながりがあるまちと感じている市民の割合【再掲】

28.4% → 60%
(2022年度)

◆主な取組（細施策）

■重要業績評価指標（KPI）／目標値（2030年度）

◆施策24-1 防災・減災機能の強化

■特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化率 93.3% → 100%
(2021年度)

◆施策24-2 災害予防・対策の強化

食料の備蓄	68.9%	→	75%
飲料水の備蓄	63.8%	→	70%
■災害に備えている市民の割合	避難場所共有 58.6%	→	70%
	安否確認共有 50.6%	→	70%

(2022年度)

◆施策24-3 災害情報収集・伝達の強化

■複数の手法で防災情報を入手できる市民の割合 75.2% → 85%
(2022年度)

◆施策36-1 みどりの保全・活用

■保全の対象としたみどりの面積

1,092.1ha (2021年度) → 1,150.0ha

重点テーマ

(3) 未来に続く都市づくり

取組方針 イ

にぎわいと活力を生み出すため、新産業分野の事業創出や既存産業への支援を行うほか、公共交通の充実とともにウォーカブル*なまちづくりを推進します。

■数値目標（2030年度）

■付加価値額【再掲】

1,080,425百万円 → 現状以上
(2016年)

■創業比率

5.2% → 10%
(2014~2016年)

■「交通の便」満足度

49.5% → 55%
(2022年度)

■居心地がよくあるきたくなるまちと感じている市民の割合【再掲】

59.6% → 75%
(2022年度)

◆主な取組（細施策）

■重要業績評価指標（KPI）／目標値（2030年度）

◆施策28-1 中小企業の経営力強化

■従業者1人当たりの付加価値額（労働生産性）

530万円 → 現状以上
(2016年度)

◆施策30-4 成長産業の創出

■創業支援等事業による支援を受けた創業者数

37人 → 103人
(2021年度)

◆施策27-1 地域公共交通の確保

■公共交通の利便性の満足度

64.5% → 75%
(2022年度)

◆施策31-1 中心市街地の活性化の推進

■中心市街地を「居心地の良い場所」「訪れて楽しい場所」と感じている市民の割合

62.2% → 80%
(2021年度)

自然環境と都市機能が調和した都市の実現に向け、
再生可能エネルギーの導入推進・普及など
持続力を生み出す取組を推進します。

■数値目標（2030年度）

■ 生物多様性や豊かな生活環境の保全のために行動した市民の割合

79.4% → 85%
(2022年度)

■ 温室効果ガス削減割合（2013年度比）

12% → 46%
(2019年度)

◆主な取組（細施策）

■重要業績評価指標（KPI）／目標値（2030年度）

◆施策36-3 生物多様性の保全

■「生物多様性」の周知度（言葉の意味を知っている市民の割合）

39.6% → 50%
(2022年度)

◆施策22-1 計画的なまちづくり

■居住誘導区域の人口密度

75.5人/ha → 74人/ha以上
(2021年度)

◆施策34-1 CO₂排出量の削減

■日常生活において常に地球環境に配慮して暮らしている市民の割合

53.9% → 70%
(2022年度)

◆施策34-2 再生可能エネルギーの普及促進

■市内に設置された太陽光発電設備の発電容量

55MW → 159MW
(2021年度)

3

ひら
未来を拓く原動力

「未来を拓く原動力」とは、
住み続けるまちをより良くするエンジン。

本市では、「八王子ビジョン2022」に基づき、「人とひととの支えあい、つながり」と市民・行政の互いの役割と責任ある行動による「協働」を柱とし、土台となる地域コミュニティの活性化に取り組み、市民自治をすすめてきました。

私たちを取り巻く社会環境は、人口減少や人口構造の変化、デジタル技術の進展など大きく変化してきており、今後は益々複雑性を増し、将来予測がより困難な状況となります。

こうした中、直面している地域課題、社会課題の解決に向け、基礎自治体である本市が多様な主体と一丸となり、チャレンジしていく決意の証として「八王子未来デザイン2040」では、「八王子ビジョン2022」の柱を継承しつつ、より発展的に捉えた「地域自治」と「共創」を「未来を拓く原動力」として掲げます。

継承する2つの柱を市民自治をすすめるための両翼と例えるならば、「未来を拓く原動力」は私たちの住み続けるまちをより良くするために加速させていく2つのエンジン。そして、この原動力を有効に機能させるためには“人づくり”が起点となります。サービスを支える財産となる職員の確保・育成・活用をはかりながら、地域人材や企業、大学などが地域課題、社会課題に対する自立的・主体的な活動にチャレンジできる環境も構築していくことで、市民自治を推しすすめ、持続可能な成熟都市として進化・発展していきます。





「地域自治」とは、

地域のことを自分たちで考え、ともに行動することで
みんなの幸せを実現していくこと。

「人とひととの支えあい、つながり」は、本市の「まちづくりの基本理念」を定めるに当たっての重要な要素であり、その一つの具体的な形が地域コミュニティです。近年、地域活動の担い手の減少やライフスタイルの変化、単身世帯の増加などにより地域とつながるきっかけがない状況などから、地域コミュニティの活力低下が懸念されています。一方で、地域が抱える課題は、多様化・複合化しており、地域の実情を踏まえたきめ細かい対応に向けた持続可能な地域コミュニティの形成が求められています。

そこで本市では、地域が主体的に地域の魅力や課題を把握し、その向上や解決に向けて、地域の多様な活動団体や住民同士、地域と行政が協働していくための仕組みを構築する「地域づくり」を推進しています。

「地域づくり」では、日常生活において顔の見える関係性をつくりやすい中学校区を基礎単位としたうえで、地域の自立性・主体性を尊重しながら、地域単位での多様な施策・事業の展開をはかり、新しい地域のつながりを育み、行政組織のあり方や役割を再構築していきます。

「地域づくり」を通して、地域のことを自分たちで考え、行動することで、みんなの幸せを実現していく「地域自治」を推進し、地域と行政がともに未来へ向かって歩んでいきます。



「共創」とは、

対話と共感から、新たなソリューション（解決策）を
とも（共）に創り出すこと。

活力あふれる自立都市の実現を目指していくために、市民・行政の互いの役割と責任ある行動による「協働」は重要な要素であり、引き続き豊かな地域社会を築く協働のまちづくりをすすめていきます。

一方で、今後は、生産年齢人口の減少に伴う介護をはじめとした医療・福祉分野の従事者の不足や、人口減少・少子高齢化の進行に伴う公共交通サービス水準の低下、国内消費市場の規模縮小による地域経済の衰退、さらに、気候変動による激甚化する災害への対応など、これまで経験したことのない課題に立ち向かうことが必要です。これらの課題解決には分野や領域を超えた組織間での課題共有、連携が必要であるとともに、更なる課題にも対応し続けていかなければなりません。そのため、企業、大学などの対話と共感を起点に、とも（共）に考え、創造していく仕組みを市が主体的に構築し、地域課題、社会課題のソリューションを創出する「共創」を継続できる社会を目指していきます。

コラム

4

変革のキーワード

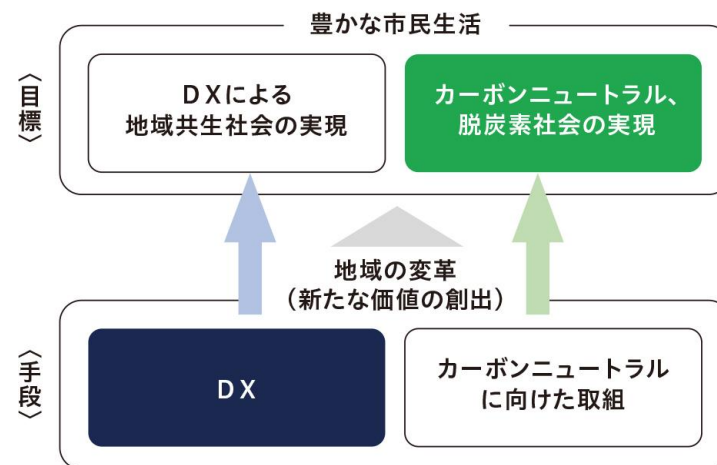
「変革のキーワード」は、新時代を生き抜くみんなの合言葉。
社会の一員として地球規模で考え、
私たちの地域から行動し、変革を起こしていきましょう。

本市では、新たな価値を創出する地域経営（地域の持続可能な発展に向けた活動）の変革に向け、多様な主体とともに社会や行政のあり方等を再構築する「デジタル・トランスフォーメーション（DX）」、「カーボンニュートラル」を「変革のキーワード」として定め、あらゆる場面を通じて取組をすすめていきます（52ページからの「各論（施策ページ）」の下部に、各施策における取組例等を記載しています。）。

「変革のキーワード」は、私たちや次世代の心豊かな暮らしにつながる「地域共生社会*」と「脱炭素社会」の実現のためには欠かせないものです。

新たな時代を生き抜くみんなの合言葉である「変革のキーワード」を、社会の一員として一人ひとりが地球規模で考え、私たちの地域から取り組んでいきましょう。

「変革のキーワード」に関するイメージ図



思い描く未来のまちの実現に向けて。

人による、ひとのためのDXを推進しましょう。

デジタル・トランスフォーメーション (DX) とは

「デジタル技術の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること」です。

本市が取り組むDXは、分かりやすさや使いやすさ、安心感・信頼感を確保したうえで、デジタル技術やデータの活用により、市民の視点に立って行政サービスを変革し、新たな価値の創出と市民生活の質の向上をはかるものです。

推進するために

みんなの力を結集

社会全体のDXをすすめるためには、行政サービスのDXのみならず、企業の技術力、大学等の研究成果及びシビックテック（市民がテクノロジーを活用して行政や地域社会の課題を解決しようとする取組）などが必要です。

企業、大学等との連携による実証実験などをすすめながら、多様な主体の力を結集し、DXを推進していきます。

何をを目指すのか

デジタル技術を活用した地域共生社会*の実現

人口減少や地球温暖化などの様々な社会環境が変化する中、環境・社会・経済の持続可能性を向上させるためにはDXが必要です。

また、デジタル技術の活用により、人とひととのつながりを深めていくことで、誰一人取り残されことなく地域の中で支えあい、豊かな暮らしを実現していく、地域共生社会を目指します。



図：デジタル庁「デジタル社会の実現に向けた重点計画」より



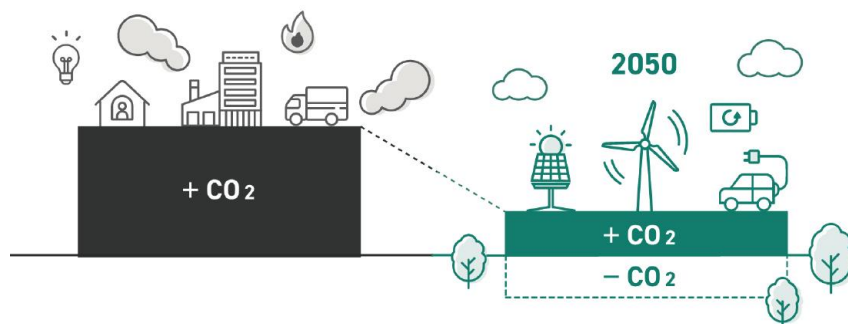
2050年、更にその先の未来のために。
今から、自分ができることを実践しましょう。

カーボンニュートラルとは

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味します。

令和4年（2022年）2月に、「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ（カーボンニュートラル）」を目指し、市民・事業者・行政の「オール八王子」で脱炭素社会の実現に向けて、全力で取り組むことを宣言しました（ゼロカーボンシティ宣言）。

温室効果ガス排出量の削減並びに吸収作用の保全及び強化につながる取組を推進し、二酸化炭素排出量を実質ゼロにします。



図：環境省ホームページ
(https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/about/) より

なぜ目指すのか

気候危機を回避するため、取組の強化が必要です。

地球温暖化による気候変動の影響は、近年、気象災害の頻発など顕著に現れています。本市においても、台風や集中豪雨により、浸水被害が発生するなど市民生活に大きな影響をもたらしています。

将来にわたり、恵み豊かな環境を次世代に引き継いでいくため、脱炭素への取組を強化していく必要があります。

達成に向けて

みんなで変革

一人ひとりの意識やライフスタイルの変革、環境配慮を制約やコストではなく成長の機会と捉えた企業経営の変革、化石燃料などの使用を再生可能エネルギーに転換することで、経済社会システム全体の変革（GX：グリーン・トランスフォーメーション）を実行するなど、それぞれができる取組により、新たな価値や大きな成長を生み出し、カーボンニュートラルの達成、脱炭素社会の実現を目指します。

コラム

5

これからの市政運営に当たって

(1) 経営方針

みんなで目指す2040年の姿を着実に実現していくためには、基盤となる効果・効率的な行政経営が不可欠です。これまでの考え方や手法にとらわれることなく、変わり続けていく多様なニーズに寄り添い、しなやかに対応するとともに、行財政運営の持続可能性を追求し、未来への責任を果たすことで、市民の信頼に応え続ける市役所づくりをすすめていきます。

方針1 多様な主体による価値創造を促進する。

◇活力あふれる自立都市の実現に向け、地域の多様な主体が互いを尊重し、強みを活かし合えるまちづくりをすすめるため、市は相互間の協力関係を構築するプラットフォームビルダーとしての役割を果たします。

方針2 未来視点で賢く投資する。

◇限りある経営資源（ヒト・モノ・財源・情報）を有効活用し、最大限の効果を発揮できるよう、未来志向で成果重視の賢い投資を実践します。

方針3 「スマート市役所」を実現する。

◇サービスデザイン思考*で業務を変革し、市民の利便性を高めるとともに、職員が創造的な仕事に注力できる環境を整えることで、今より少ない職員でも質の高いサービスを柔軟に展開できる高効率な市役所を実現します。

方針4 持続可能な財政基盤を次代につなぐ。

◇人口減少などの社会環境の変化や災害などのリスクに迅速かつ柔軟に対応しつつ、将来世代に負担を残さない持続可能な財政運営を行います。

方針5 チャレンジする組織になる。

◇「職員は財産」という考えのもと、新たな価値を生み出すことのできる人財を確保・育成するとともに、その力を最大化する組織づくりを行うことで、変化をチャンスと捉えてチャレンジを続ける集団を創ります。



(2) 地域区分とまちづくり

本市は、甲州街道の宿場町として商業の発展とともに人々が集まりにぎわってきた現在の中心市街地、首都圏のベッドタウンとして計画的に開発されたニュータウン、豊かな水とみどりを背景に農林業や酪農、養蚕などが営まれた山地や丘陵地など様々な地域の顔を有しています。

それぞれの地域では、多岐にわたる地勢、そこに息づく多様な動植物などの自然環境のもとに人々は生活し、地域ごとに暮らしや生業、文化・風習や信仰などが形作られながら、住む人たちの地域を愛する心が強く結び付き、現在の個性ある地域社会が築き上げられ、受け継がれてきました。

こうした歴史的背景を踏まえ、地域が持つ様々な個性や魅力を活かしたまちづくりをすすめる観点から、引き続き、市域を6つに区分し、それぞれの地域の個性をつなぎ、重ね合わせ、市民と行政との協働により八王子のまちづくりを推進していきます。

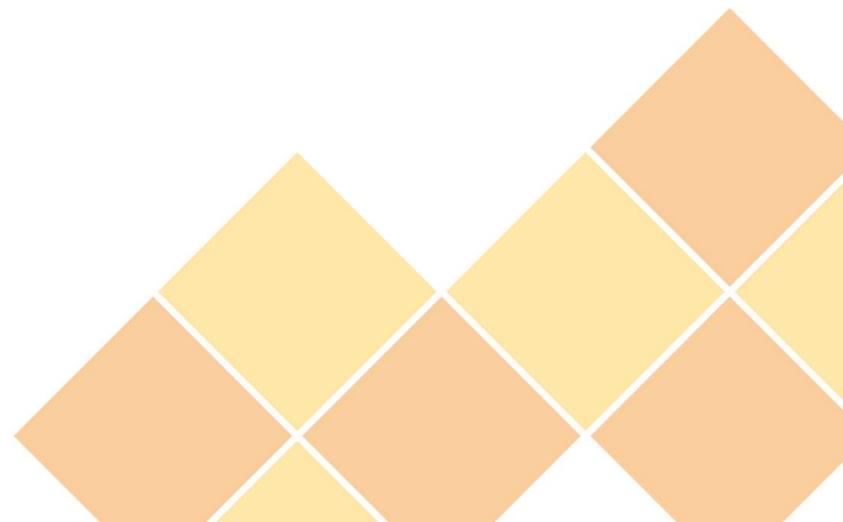
また、より一層複雑化・多様化する地域の課題に対応していくために、中学校区を基礎単位とした「地域づくり」の取組をスタートして

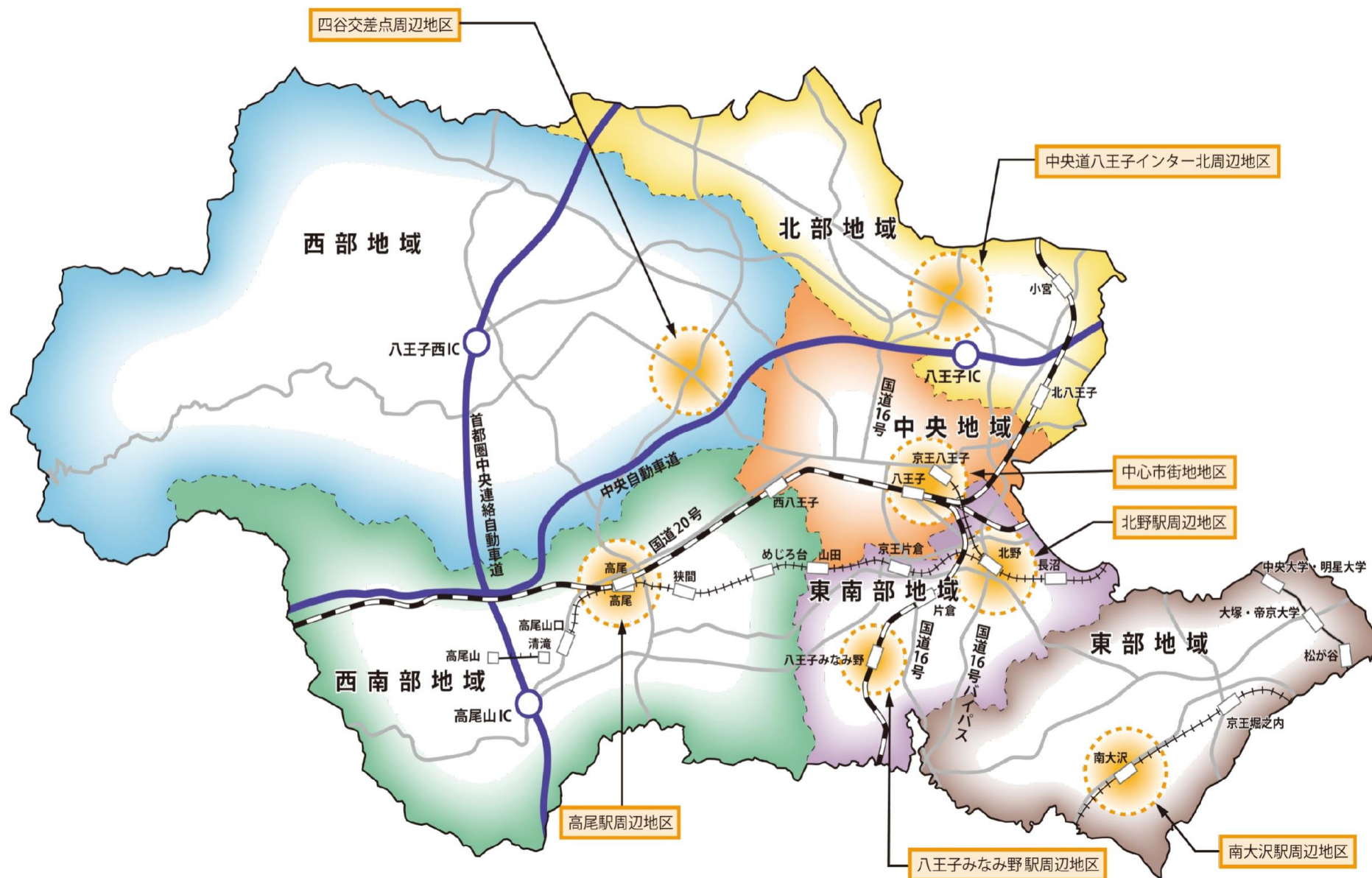
います。様々な分野の活動団体や幅広い世代の地域住民が参画しやすい仕組みのもとで、地域ごとに自立性・主体性を発揮しながら、将来にわたって、安心して暮らせる地域社会の実現を目指すまちづくりもすすめていきます。

さらに、これまで交通の要衝として、人々や物資が集まる地域の拠点とそれらを結ぶ街道の沿道を中心にまちが形成され、その周辺に広がる緑地や農地を保全・活用しながら各地域が発展してきた本市の特長を活かし、市民生活の更なる利便性の向上もはかっていきます。

昨今では、新型コロナウイルス感染症を契機とした人々の生活や社会を取り巻く環境の変化などにより、豊かな自然と都市の利便性が調和した本市の都市環境が再評価され、移住や企業立地ニーズが高まっています。

今後とも、計画的な秩序ある土地利用を推進し、各地域が持つ魅力に磨きをかけるとともに、豊かな自然資源やデジタル技術を活用して都市の脱炭素化に取り組むなど、新たな時代の要請にも対応した“未来につながる都市づくり”をすすめていきます。







基本計画

第2部 各論

各論ページの見方

基本構想に掲げる6つの都市像を実現するため、37の施策を定め、次ページのとおり体系化しています。ここでは、各論ページの見方を示します。

施策体系における位置付けを記載しています。

2030年度に向けた取組の方向性を記載しています。
方向性の根拠となる、施策における現状や課題は、別冊（附属資料）20ページ以降に記載しています。

DXには、デジタル技術等で創出する新たな価値とその取組例を、カーボンニュートラルには、その実現に向けた取組例を記載しています。

施策番号 第1編 みんなで担う公共と協働のまち 第1章 市民自治の推進 第1節

01 つながりから育む地域主体のまちづくり

2030年度に向けた施策の展開（細施策）

- 1 地域づくりの推進**
 - 地域のプラットフォームである地域づくり推進会議の設置促進
 - 地域人材が気軽に参加し、活躍できる環境づくり
 - 地域づくりの担い手の発掘・育成
 - 地域の取組をサポートできる体制の構築
- 2 地域コミュニティ活動の促進**
 - 地域で活躍できる多様な人材の育成
 - 社会参加に向けた各団体の活動情報の周知・共有化支援
 - 持続可能な団体活動に向けた支援の充実
- 3 みんなの居場所づくり**
 - 地域コミュニティ活動への参加のきっかけづくり
 - 地域における気軽に立ち寄れる環境づくり

新たな価値の創出に向けて

DX 「誰でもいつでもどこでも」つながることができる地域コミュニティ

- 地域情報アプリの導入
- オンラインを活用した地域の交流や活動の促進

地域発の地球温暖化対策の推進

- 地域づくりを通じた意識啓発とエコアクションの促進

関連する個別計画等 QR 地域づくり推進基本方針 など

52

SDGsの17ゴールのうち、施策が達成に貢献するゴールを記載しています。

細施策が関連付く重点テーマを示しています。関連付けた細施策は、取組方針に基づいて分野横断的に取り組みます。

重点テーマ



未来の主役づくり



未来へのつながりづくり



未来に続く都市づくり

施策に関連のある主な個別計画等を記載しています。



各論体系図

基本構想の6つの都市像実現のため、37の施策を定め、体系化しています。

基本理念 「人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子」

----- 都市像(編):6
----- 基本施策(章):19

----- 施策(節):37

----- 施策展開のための細施策

1. みんなで担う公共と協働のまち

① 市民自治の推進

①

01

つながりから育む地域主体のまちづくり

1 地域づくりの推進 2 地域コミュニティ活動の促進 3 みんなの居場所づくり

② 市民が納得できるサービスの提供

①

03

市民と行政の相互理解を深める情報収集・発信

1 情報収集の充実 2 情報発信の充実 3 市政情報の適正管理

②

04

市民満足度を高めるサービスの提供

1 市民サービスの適正化 2 自治体DXの推進

③ 地方分権時代にふさわしい行財政運営の推進

①

05

自立都市に向けた機能充実

1 政策課題への対応力向上 2 シティプロモーションの推進 3 自主性・自立性の向上

②

06

持続可能な行財政運営

1 計画行政の推進 2 人財の育成と職場環境の整備 3 リスクマネジメントの強化 4 効果効率的な行政運営 5 健全な財政運営

2. 健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち

① 誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進

①

07

一人ひとりが尊重される地域社会の構築

1 平和・人権意識の醸成 2 人権擁護の推進 3 男女共同参画の推進 4 多文化共生の推進

②

08

一人ひとりの暮らしに寄り添う相談・支援の充実

1 暮らしの相談・支援の充実 2 社会保障制度の適正運用 3 安全・安心な消費生活の推進 4 外国人市民への支援

② 誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり

①

09

地域共生社会の実現に向けた基盤づくり

1 地域で支えあえるつながりづくり 2 地域人材の育成・支援

②

10

誰もが安心して暮らすための地域福祉の推進

1 地域で安心して暮らすための支援の充実 2 生きがいづくりの推進

③ 保健医療の充実

①

11

こころと身体の健康を支える地域保健の推進

1 健康づくりの推進 2 保健衛生の充実 3 母子保健の充実 4 健康危機管理体制の強化

②

12

安心につながる医療体制の充実

1 地域医療連携体制の強化 2 救急医療の充実 3 医療・福祉の連携強化

3. 活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち

① 全ての子どもが健やかに育つ地域づくり

①

13

全ての子ども・若者が健やかに育つ環境の充実

1 子育て環境の充実 2 子ども・若者の居場所づくり 3 誰一人として取り残さない支援

②

14

子どもを育む家庭への支援

1 子育て環境の充実

② 未来をひらく子どもを育てる教育

①

15

生きる力を育む学校教育の推進

1 確かな学力を育む教育の推進 2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進 3 児童・生徒に応じた支援の充実

②

16

地域とともにある学校づくり

1 家庭・地域の力を活かした教育の充実 2 学校を核とした地域力の向上

③

17

子どもの学びを支える教育環境の充実

1 教育環境の整備・充実 2 指導環境の整備・充実 3 学校における働き方改革の推進

3 学びを活かせる生涯学習の推進

1	18	学びの循環を生み出す生涯学習の推進	1 学びの環境づくり 2 リカレント教育の充実 3 学びと実践の循環づくり
2	19	健康と活力を育むスポーツ・レクリエーションの充実	1 スポーツ・レクリエーションの振興 2 スポーツ・レクリエーション環境の整備と確保
1	20	豊かな心とつながりを育む文化振興	1 文化芸術活動の活性化 2 文化芸術の振興 3 都市間文化交流の推進
2	21	市民が誇れる歴史と伝統文化の継承・活用	1 歴史文化の保存・活用 2 歴史文化・日本遺産の魅力発信

4. 安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち

1 自然と共生し地域の多様性を活かしたまちづくり

1	22	魅力ある持続可能なまちづくり	1 計画的なまちづくり 2 地域拠点の形成 3 主要駅周辺の拠点・回遊空間の形成 4 都市景観の形成
2	23	人と自然にやさしいまちづくり	1 ユニバーサルデザインのまちづくり 2 都市緑化の推進 3 住宅・住環境の整備 4 公園・緑地の整備と維持管理

2 地域力を活かした安全で安心なまちづくり

1	24	強さとしなやかさを持ったまちづくり	1 防災・減災機能の強化 2 災害予防・対策の強化 3 災害情報収集・伝達の強化 4 復旧・復興体制の整備
2	25	安全で安心な暮らしを守る体制・対策の強化	1 生活安全対策の充実 2 連携体制の強化 3 地域防犯力の強化

3 快適で人にやさしい交通環境づくり

1	26	安全で円滑な交通環境の構築	1 交通結節点の整備 2 道路交通網の整備 3 道路・橋りょうの維持管理
2	27	快適に移動できる公共交通基盤の形成	1 地域公共交通の確保 2 多様な移動手段の確保 3 交通安全教育の推進

5. 魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

1 地域経済を支える産業の振興

1	28	八王子を支える地域産業の基盤強化	1 中小企業の経営力強化 2 産業連携の推進
2	29	人材が活躍できる働く環境の整備	1 多様な働き方の推進 2 働く機会の創出 3 産業人材の育成

2 まちの活力を創出する産業

1	30	地域活性化に向けた産業イノベーションの創出	1 共創による新たなビジネスの創出 2 イノベーション拠点の形成 3 企業立地の促進 4 成長産業の創出 5 地域・社会課題解決型ビジネスの創出
---	----	-----------------------	---

3 まちの魅力を向上させる産業

1	31	にぎわいを創出する産業の振興	1 中心市街地の活性化の推進 2 商業の振興 3 観光地域づくりの推進 4 MICE誘致の強化
2	32	農林業と都市の共生	1 農業の振興 2 林業の再興

6. 一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

1 一人ひとりが考え、ともに守る環境

1	33	環境を守り育む人づくり	1 環境教育・環境学習の推進 2 環境人材・ネットワークづくり
---	----	-------------	---------------------------------

2 環境負荷の少ないまちづくり

1	34	オール八王子で取り組む脱炭素に向けたまちづくり	1 CO ₂ 排出量の削減 2 再生可能エネルギーの普及促進
2	35	地球にやさしい循環型社会の形成	1 ごみの発生抑制・資源化 2 廃棄物処理の最適化

3 自然と共生した安全で快適な環境

1	36	未来に潤いをもたらすみどりと生物多様性の保全	1 みどりの保全・活用 2 水辺空間づくり 3 生物多様性の保全
2	37	安全で良好な生活環境の確保	1 水循環の再生と水質保全 2 生活環境の保全

つながりから育む地域主体のまちづくり



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 地域づくりの推進



- 地域のプラットフォームである地域づくり推進会議の設置促進
- 地域人材が気軽に参加し、活躍できる環境づくり
- 地域づくりの担い手の発掘・育成
- 地域の取組をサポートできる体制の構築

2 地域コミュニティ活動の促進



- 地域で活躍できる多様な人材の育成
- 社会参加に向けた各団体の活動情報の周知・共有化支援
- 持続可能な団体活動に向けた支援の充実

3 みんなの居場所づくり



- 地域コミュニティ活動への参加のきっかけづくり
- 地域における気軽に立ち寄れる環境づくり



新たな価値の
創出に向けて



「誰でもいつでもどこでも」つながることができる地域コミュニティ

- 地域情報アプリの導入
- オンラインを活用した地域の交流や活動の促進



地域発の地球温暖化対策の推進

- 地域づくりを通じた意識啓発とエコアクションの促進

豊かな地域社会を築く市民と行政の協働



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 協働・共創の推進



- 共創推進に向けた産学官民連携の仕組みの構築
- 地域課題解決に向けた市民提案による協働推進
- 市民活動支援センターの機能強化による協働推進
- 市民活動に関する情報発信の充実
- 対話の推進及びコーディネート能力の強化

2 学園都市づくりの推進



- 地域と大学等がともに発展できるまちづくり
- 大学等との連携推進及び学生の発想を活かしたまちづくり
- 学園都市の特性を活かす「大学コンソーシアム八王子」の支援
- 学園都市八王子の魅力発信・ブランド力の強化

3 市民参加の推進

- 市民参加につながる分かりやすく多様な手法による情報発信
- 市民が参加したくなる環境づくりの推進



新たな価値の
創出に向けて



地域や大学などの知見を活用した
デジタル化による地域社会

- 先端技術の活用や実証実験等が実施しやすい環境整備
- オンラインを活用した市民参加ツールの活用



協働・共創による地球温暖化対策の推進

- 産学官民連携によるエコアクションに資する仕組みの構築
- 地域や大学などが主体となったエコアクションの促進

関連する個別計画等

QR

学園都市ビジョン など

市民と行政の相互理解を深める情報収集・発信



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 情報収集の充実

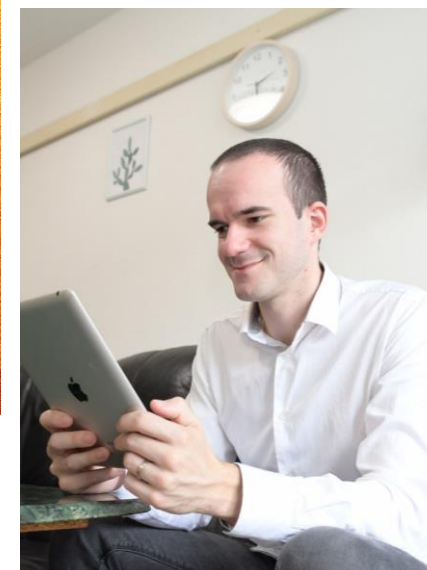
- 様々な機会を通じた市民意見の的確な把握と市政への反映
- 時代に即した新たな広聴手段の調査・研究

2 情報発信の充実

- 多様な媒体・手段を活用した伝わる市政情報の発信
- 市政の課題共有のための戦略的な情報発信
- 市政資料のデジタルアーカイブ化*など市政情報発信の仕組みづくり
- 新たな価値創出に向けたオープンデータ*の推進

3 市政情報の適正管理

- 情報公開・個人情報保護制度の適正運営
- 情報セキュリティの徹底
- 公文書の適正な管理・活用の推進



新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術を活用した
市民と行政のコミュニケーション

- SNSを活用したコミュニケーションの双方向化
- API*機能による統計データの高度利用



オープンデータ*の活用と情報発信の充実による
地域に根差したエコアクションの促進

- CO₂排出量などの環境情報のオープンデータ*化

市民満足度を高めるサービスの提供



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 市民サービスの適正化

- 窓口サービスのワンストップ化・オンライン化などによる利便性向上
- 身近な地域で必要なサービスを受けられる環境整備
- 近隣自治体との相互サービスの推進

2 自治体DXの推進

- 行政手続きのオンライン化による利便性向上
- マイナンバーカードの利活用推進
- AI*等の最新デジタル技術の活用による業務効率化の推進
- データ活用によるワンストップ*・プッシュ通知*の実現
- デジタルデバイド*対策の推進



新たな価値の
創出に向けて



自治体DXの推進による充実した住民サービス

- マイナンバーカードの利活用
- サービスデザイン思考*に基づくDXの推進



自治体DXの推進による環境負荷の低減

- 行政手続きのオンライン化

自立都市に向けた機能充実



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 政策課題への対応力向上

- 共創による政策課題への対応力向上
- 統計データや民間保有データ、地域情報の収集・活用の推進
- E B P M*の推進による政策立案機能の向上
- 政策立案に必要な法務機能の充実
- 人口減少・少子高齢化社会に適応した広域連携に関する調査・研究

3 自主性・自立性の向上

- 中核市市長会などを通じた政策提案・提言の実施
- 政策課題解決に向けた事務権限や規制緩和の活用
- 権限に見合った適切な財源確保に向けた国への働きかけ
- 大都市制度の調査・研究

2 シティプロモーションの推進



- 都市ブランド形成に向けたシティプロモーションの充実
- 活動人口*を増加させる取組の推進
- ブランドマネジメントの推進によるシビックプライド*の醸成



新たな価値の
創出に向けて



自治体DXによる強化された政策立案機能

- データ等を活用した効果効率的な政策立案
- デジタルシティプロモーションの推進



中核市権限とシティプロモーションを活用した地球温暖化対策の推進

- クールセンター八王子の活用
- 環境先進都市としてのシティプロモーションの展開

持続可能な行財政運営



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 計画行政の推進

- 経営資源の確保と配分を一体的に捉えた進行管理の実施
- 計画の効果的な検証の仕組みの構築

2 人財の育成と職場環境の整備

- 社会環境の変化に対応できる人財の確保と能力・適性・意欲を活かせる人事制度の構築
- 職員が能力を最大限に発揮できる職場環境の整備

3 リスクマネジメントの強化

- リスク管理の継続的な運用
- 危機管理体制の構築

4 効果効率的な行政運営

- 公共施設マネジメントの強化
- 市有資産（土地・建物）の有効活用
- 受益者負担の適正化による公平性と透明性の確保
- BPR*による業務改革の推進
- 効果的なアウトソーシング等の活用

5 健全な財政運営

- エビデンスに基づく事業選択を前提にした財政運営の推進
- 中期財政フレームに基づく財政の健全性維持
- 市税の適正な賦課と徴収の徹底
- 全庁的な歳入確保・コスト意識の徹底

新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術やデータの活用による
持続可能な行財政

- 地域のDXを先導する人材の確保・育成
- クラウド*サービスやAI*等の活用による業務効率化



サステナビリティ経営による環境負荷の低減

- 八王子市役所環境マネジメントシステム（H-EMS）の推進
- 公共施設における地球温暖化対策の推進

一人ひとりが尊重される地域社会の構築



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 平和・人権意識の醸成

- 平和都市宣言に基づく平和行政の推進
- 多様な学習機会の提供や普及啓発による人権意識の醸成

2 人権擁護の推進

- 多様な個性等が尊重される社会意識の醸成
- 成年後見支援を利用しやすい環境の整備

3 男女共同参画の推進



- 子どもの頃からの男女共同参画意識の醸成
- 事業者や地域社会における男女共同参画の積極的な働きかけ
- 性別に起因する暴力の根絶に向けた取組の推進

4 多文化共生の推進

- 多文化共生意識の醸成
- 外国人市民も地域社会の一員として活躍できる環境づくり



新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術の活用を通じた強化された
人とひととのつながりと多様な個性・価値観

- オンライン相談・支援の充実
- オンラインを活用した交流・連携



多様な視点を活かした地球温暖化対策の推進

- 一人ひとりの自発的なエコアクションの促進

一人ひとりの暮らしに寄り添う相談・支援の充実



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 暮らしの相談・支援の充実



- 複合化・複雑化した相談を包括的に対応するための重層的支援体制の充実
- 関係機関や地域の支援団体との連携による生活困窮者の早期発見
- 面談・電話・オンラインなどの多様な相談手段の確保
- 少子高齢化や多死社会の到来など社会環境の変化に対応した環境づくり

2 社会保障制度の適正運用



- [各種社会保障制度]
- 保険料（税）収入率の向上
 - 健全な事業運営の確立と制度啓発
- [生活保護制度]
- 生活困窮世帯の的確な実態把握による早期支援
 - 要保護世帯への適切な相談対応
 - 被保護世帯への経済的・社会的自立の支援及び被保護者の健康管理の促進

3 安全・安心な消費生活の推進

- より良い社会の発展に積極的に関与する消費者の育成
- 地域で支えあうネットワークづくり
- 成年年齢引下げに対応した効果的な消費者教育の実施
- 消費者トラブルに関する迅速な情報提供、相談体制の充実

4 外国人市民への支援



- 多言語による生活情報の提供及びコミュニケーション支援の強化
- 外国人にも分かりやすい「やさしい日本語」の普及・活用
- 外国人相談・支援の充実

新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術の活用による充実した相談・支援

- オンライン化の推進
- 多言語コミュニケーション支援



暮らしの中でのエコアクションの促進

- エシカル消費*の普及促進

地域共生社会の実現に向けた基盤づくり



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 地域で支えあえるつながりづくり



- 幅広い世代が集える交流の場づくりや交流活動の支援
- 地域福祉の浸透に向けた普及・啓発、情報提供の推進
- 地域福祉の仕組みの構築
- 孤独・孤立など社会課題に対する重層的な支援の充実
- 農福連携*にかかわる障害福祉サービス事業所等への支援

2 地域人材の育成・支援



- コーディネーター・ボランティア等の担い手の育成
- 地域福祉の担い手への活動継続の支援
- 地域福祉の担い手同士の連携強化



新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術も活用した
人とひととのつながりによる地域共生社会*

- 地域情報アプリの導入
- SNSなどによる福祉の担い手同士のコミュニケーション強化



地球温暖化対策につながる
地域の基盤づくり・人づくり

- 地域の活動団体や住民のエコアクションの促進

誰もが安心して暮らすための地域福祉の推進



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 地域で安心して暮らすための支援の充実



- 介護予防・健康づくりの推進
- リエイブルメント（再自立）*の推進
- 高齢者・障害者の雇用機会の拡大及び就労定着の支援
- 障害児に対する療育の場の充実と適切な支援
- 認知症との共生と予防の推進
- 高齢者・障害者への相談支援の充実
- 高齢者・障害者への日常生活支援
- 高齢者・障害者に対する虐待の早期発見と保護・支援
- 各分野と連携した支援体制の充実
- 地域ネットワークの充実
- 障害・介護など福祉にかかわる人材の確保・定着・育成
- 介護予防や生活支援に資する既存の市場サービスの活用促進
- 介護者同士の交流機会の充実
- 「障害者差別禁止条例」の周知・啓発による障害理解の促進
- 持続可能な介護保険制度の運用と介護サービス基盤の整備
- 福祉サービスの質の確保に向けた事業者への指導・監査

2 生きがいづくりの推進

- 生きがいを持ち生活できるための支援の充実
- 高齢者・障害者の地域活動機会の促進



新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術が生み出す安心・生きがい

- 高齢者の見守りネットワークの構築
- オンラインを活用した活動機会の創出



地域福祉における地球温暖化対策の促進

- 地域の活動団体や住民のエコアクションの促進
- 地域福祉を通じた啓発・情報発信
- 福祉施設における再生可能エネルギーの導入支援

こころと身体を健康を支える地域保健の推進



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 健康づくりの推進



- 市民・団体との連携による健康づくりの機会の充実
- 健康づくりサポーターの養成、活動の推進
- 健康教育・健康相談体制の充実
- 食に関する知識の普及・啓発をはじめとした食育の推進
- 生活習慣病・がん等における健診・検診受診の推進及び啓発
- 健診（検診）・医療・介護のデータ分析に基づく効果的な予防方法の研究
- 健康維持・増進に向けたフレイル*予防の推進
- 保健事業と介護予防の一体的な実施
- 予防接種の接種率向上のための取組の推進

2 保健衛生の充実



- 感染症拡大防止対策の強化
- 関係機関と連携した総合的な自殺対策の推進
- 難病患者への相談支援の充実
- 食品・医事・薬事等に関する安全確保・相談・啓発の実施
- 動物愛護精神の醸成と適正な飼育方法の啓発
- 地域に密着した保健行政の推進及び地域医療との連携強化

3 母子保健の充実



- 母子の健康増進及び児童虐待の発生予防に向けた八王子版ネウボラ*の充実
- 発育・発達の遅れへの早期対応による適切な支援

4 健康危機管理体制の強化



- 感染症による健康危機管理体制の構築
- 災害時における健康危機への迅速な対応



新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術を活用した 地域資源の連携による地域保健

- 健診データ等ヘルスデータを活用した健康づくり支援
- オンライン相談・支援の充実



疾病予防や健康づくりにおける 地球温暖化対策の促進

- 地域の活動団体や住民のエコアクションの促進
- 健康につながる徒歩・自転車の利用促進

安心につながる医療体制の充実



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 地域医療連携体制の強化



- 適切な医療情報の提供及び医療相談体制の充実
- 地域医療の向上に向けた高度・専門医療の充実
- 医療機関の連携強化による迅速・効果的な医療受診体制の構築
- かかりつけ医・歯科医・薬剤師の普及・定着
- 看護専門学校における看護人材の育成・確保

2 救急医療の充実

- 適正な救急医療の受診に向けた周知・啓発
- 切れ目のない救急医療サービス実現のための連携体制強化

3 医療・福祉の連携強化

- 在宅療養者等への切れ目のない支援
- 在宅医療の充実と介護との連携強化



新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術を活用した医療連携と最新医療

- 介護と医療データの連結分析
- オンライン診療、電子処方箋などの普及促進



医療分野における地球温暖化対策の促進

- 医療機関における再生可能エネルギーの導入支援

全ての子ども・若者が健やかに育つ環境の充実



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 子育て環境の充実



- 子どもの権利を大切にするまちづくり
- 幼児教育・保育の質の向上
- 切れ目のない支援に向けた保・幼・小連携の推進
- 青少年の健全育成に向けた支援及び子どもの非行防止の推進
- 子どもが犯罪に巻き込まれないための対策強化
- 子どもの体験活動の充実

2 子ども・若者の居場所づくり



- 子ども・若者への支援や相談の充実
- 若者が集い、地域とつながる交流機会や若者の声を活かす場の充実
- 子どもの安全・安心な放課後の居場所の確保
- 子ども食堂等の活動団体との連携強化

3 誰一人として取り残さない支援



- 被虐待児への対応、児童虐待防止を支えるネットワークの充実と人材育成
- 発達が気になる子ども、医療的ケアが必要な子どもへの支援
- ひきこもりや就労などの悩みに対する青少年・若者への社会的自立支援
- 子どもの貧困対策の推進
- ひとり親家庭の生活基盤の安定や子どもの成長を支える総合的な支援



新たな価値の
創出に向けて



リアル・オンライン両面の 子ども・若者の居場所と子育て環境

- 子ども・若者の見守りネットワーク
- オンラインを活用した居場所づくり・活動機会の充実
- 相談・支援のオンライン化の推進



環境に配慮した子育て環境の充実

- 環境に配慮した子ども・若者の居場所づくり
- 里山や水辺空間を活用した体験活動によるエコアクションの促進

関連する個別計画等

QR

地域福祉計画、子ども・若者育成支援計画、障害者計画・障害者福祉計画・障害児福祉計画、教育振興基本計画、生涯学習プラン など

子どもを育む家庭への支援



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 子育て環境の充実



- 八王子版ネウボラ*の充実
- 子育てと仕事が両立できる環境づくり
- 子どもと親の成長を支える相談・情報提供の充実
- 気軽に子育て相談や親子の交流ができる子育てひろばの充実
- 市民ニーズを踏まえた多様な教育・保育機会の提供
- 子育てを応援する地域活動への支援



新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術の活用による充実した子育て環境

- オンライン相談・支援の充実
- ニーズに応じたプッシュ通知*



環境に配慮した子育て環境の充実

- 子育て家庭のエコアクションの促進
- 市立保育園への再生可能エネルギー導入

関連する個別計画等

QR

地域福祉計画、子ども・若者育成支援計画、男女が共に生きるまち八王子プラン など

生きる力を育む学校教育の推進



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 確かな学力を育む教育の推進



- 基本的な学習内容の定着や自ら考え判断し行動できる教育の推進
- 小中一貫教育・義務教育学校の推進と成果の検証
- 児童・生徒一人ひとりの関心やつまづきに応じた学習指導の充実
- 切れ目のない支援に向けた保・幼・小連携の推進

2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進



- 保護者や地域とともに児童・生徒の豊かな心を育む道徳教育の充実
- 拠点校方式や合同部活動方式による広域部活動及び部活動の地域移行の実施
- 日本遺産を活用した郷土学習の充実
- 生涯にわたる健全な心身と豊かな人間性を育む食育の推進
- 問題解決能力を伸長させるための体験活動の機会拡充
- 地域の企業等との連携による地域に根ざした学習の充実
- 児童・生徒の自己肯定感の醸成に向けた多様な価値観に基づく進路選択の推進

3 児童・生徒に応じた支援の充実



- 児童・生徒一人ひとりのニーズに応じた教育の推進、充実
- 不登校や心の問題など学校だけでは対応が困難な課題の解決に向けた、関係機関が連携した専門的な相談体制による登校支援の充実
- 未然防止や早期発見・対応、重大事態への対応などいじめ対策の強化
- 特別な支援が必要な児童・生徒に対する、適正な就学環境の提供
- 特別支援教育に関する理解促進と教員の専門性の向上
- オンラインを活用した学校と家庭との情報共有や相談体制の強化



新たな価値の
創出に向けて



児童・生徒一人ひとりの ニーズに応じたデジタル教育

- きめ細かな教育コンテンツの充実
- オンライン相談・支援の充実



児童・生徒への環境教育の推進

- 豊かな自然を活用した体験学習の実施
- 学校給食における地産地消と食育の推進

地域とともにある学校づくり



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 家庭・地域の力を活かした教育の充実



- 地域運営学校と地域学校協働活動の連携・協働による教育活動の推進
- 保護者や地域と連携した子どもたちの見守り強化
- 部活動の地域移行推進

2 学校を核とした地域力の向上



- 地域学校協働活動推進による地域活性化
- 学校を核とした子どもたちを育てる仕組みの構築
- 世代を超えた交流による地域活動のきっかけづくり
- 地域との連携による防災教育の推進



新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術を活用した学校を核とした 地域コミュニティと多世代交流

- デジタルと地域力を活かした子どもたちの見守りネットワークの構築
- オンラインを活用した地域交流の充実



学校を核とした地域に根差した 地球温暖化対策の推進

- 地域の活動団体や住民によるエコアクションの促進
- 地域と連携した学校における環境教育の充実

子どもの学びを支える教育環境の充実



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 教育環境の整備・充実



- 学校再編による学校規模の適正化や学校施設の老朽化対策の推進
- 学校施設の計画的な改修の実施
- 八王子市版G I G Aスクール構想*で導入したデジタル環境の活用推進
- 学習支援システムの活用による協働学習・個別学習の充実

2 指導環境の整備・充実

- 本市の特色を活かした研修による教員の指導力向上
- デジタル技術の活用による指導力の向上
- 教員（教職員）の安全衛生体制の整備

3 学校における働き方改革の推進

- 児童・生徒一人ひとりに向き合う時間を確保するための仕組みづくり
- デジタル技術の活用による校務の効率化
- 指導環境充実に向けた部活動の地域移行



新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術を活用した個別最適な学び

- 八王子市版G I G Aスクール構想の実現
- 教員の指導力向上
- 働き方改革に向けた校務DX



学校施設における地球温暖化対策

- 学校施設のZ E B*化
- 学校施設の複合化・集約化や長寿命化改修
- 学校施設における再生可能エネルギーの導入

関連する個別計画等

QR

教育振興基本計画、八王子市版G I G Aスクール構想、教員育成研修基本方針 など

学びの循環を生み出す生涯学習の推進



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 学びの環境づくり



- 企業・大学等の多様な主体との連携やデジタル技術の活用による生涯学習の充実
- 市民ニーズへの対応及びデジタル技術の活用による多様な読書環境の充実
- こども科学館における学びの機会の提供及び科学に関する情報発信

2 リカレント教育*の充実



- 社会人が学びたいときに学べる学習環境の充実
- 「学び直し」の機運醸成と情報発信
- 図書館を拠点とした市民の情報アクセスの向上

3 学びと実践の循環づくり



- 学習した成果を地域活動に活かすための仕組みづくり
- 学びを社会課題や地域課題の解決につなげる環境の整備
- 部活動の地域移行による生涯学習や生涯スポーツの活性化



新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術の活用による
充実した生涯学習機会

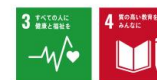
- オンライン学習コンテンツの充実
- デジタル人材育成プラットフォームの構築



エコアクションにつながる生涯学習の推進

- 環境をテーマにした学習コンテンツの充実
- 環境教育・環境学習を実践する人材の育成・確保

健康と活力を育むスポーツ・レクリエーションの充実



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 スポーツ・レクリエーションの振興



- スポーツを「する」「みる」「支える」ための環境づくり
- パラスポーツ、ユニバーサルなスポーツ及び次世代のスポーツの振興
- スポーツを通じた健康づくり
- 企業・大学等との連携による地域のスポーツ振興
- デジタル技術を活用したスポーツの振興

2 スポーツ・レクリエーション環境の整備と確保



- スポーツを支える施設の確保・充実及び計画的な維持管理
- 小・中学校の施設開放及び企業・大学等との連携によるスポーツ施設の活用
- デジタル技術の活用による既存施設の有効活用とスポーツ実施率の向上



新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術の活用による
充実したスポーツ環境

- スポーツ施設の予約、決済のオンライン化
- デジタルコンテンツの充実



スポーツを通じた地球温暖化対策の推進

- スポーツ大会等を通じた地球温暖化対策の推進
- 公共施設への再生可能エネルギーの導入
- 産学官の既存ストックの有効活用による環境負荷低減

関連する個別計画等

QR

教育振興基本計画、生涯学習プラン、スポーツ推進計画 など

豊かな心とつながりを育む文化振興



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 文化芸術活動の活性化

- 文化芸術の担い手育成
- 文化芸術活動を通じた地域活性化につながる活動支援
- 社会情勢や市民ニーズに合わせた文化施設の運営

2 文化芸術の振興



- 新たな手段による八王子の文化芸術に関する情報発信
- 地域資源を活用したイベントの開催

3 都市間文化交流の推進

- 姉妹都市・海外友好交流都市の特色を活かした交流の推進
- NPO・企業・大学等が行う自主的な都市間文化交流の促進



新たな価値の
創出に向けて



文化芸術の効果的な発信による
国内外における魅力の浸透

- 文化芸術を活かしたデジタルシティプロモーション
- オンラインを活用した都市間文化交流の推進



地域固有の文化・風土を活かした環境負荷の低減

- 文化芸術の振興を通じたエコアクションの促進
- 市文化施設への再生可能エネルギーの導入

関連する個別計画等

QR

文化芸術ビジョン、多文化共生推進プラン など

市民が誇れる歴史と伝統文化の継承・活用



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 歴史文化の保存・活用

- 「文化財保存活用地域計画」に基づいた文化財の保存と活用
- 文化財の価値や現況把握のための調査・研究
- 八王子城跡の調査・研究及び史跡の適正な維持管理・整備
- 出土遺物や調査成果のデジタル化と効果的な活用推進
- 文化財の保存・継承の支援
- 効果的な魅力発信と多様な活用

2 歴史文化・日本遺産の魅力発信



- 歴史・郷土ミュージアムの整備・運営と機能の充実
- 日本遺産認定ストーリーや構成文化財の魅力を伝える情報発信
- 文化資源の文化観光・産業観光への活用



新たな価値の
創出に向けて



歴史文化の効果的な発信による
国内外における魅力の浸透

- デジタル技術を活用した歴史文化・日本遺産の魅力発信
- 文化財のデジタルアーカイブ化*の推進



環境と共生した文化財の継承・活用

- 歴史と伝統文化の継承を通じたエコアクションの促進
- エコツーリズム*・サステナブルツーリズム*の普及促進

関連する個別計画等

QR

文化財保存活用地域計画、文化芸術ビジョン など

魅力ある持続可能なまちづくり



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 計画的なまちづくり



- 拠点・沿道ネットワーク型の都市構造の形成
- 持続可能な都市経営の実現
- 低炭素都市づくりによる多様な都市機能の誘導と調和
- 産業系機能の誘導に向けた都市基盤の適正配置
- 適正配置のための土地利用制度の複合的な選択・活用
- 市街化調整区域の適正な維持と活用に向けた土地利用の規制・誘導

2 地域拠点の形成



- 地域の特性を活かした地域拠点の整備推進
- 沿道集落地区における地域活力の向上
- 日本遺産を活かしたまちづくり
- 土地区画整理事業の着実な進行
- 市民による主体的なまちづくり活動の促進・支援

3 主要駅周辺の拠点・回遊空間の形成



- 交流・回遊を促す、J R八王子駅と京王八王子駅周辺の一体整備の推進
- 集い・交流を促し、まちの魅力向上に資する拠点施設の整備推進
- 誰もが利用しやすく往来しやすい駅周辺の整備推進

4 都市景観の形成



- 魅力あふれる都市景観の創造
- 自然環境や歴史文化等の特性を活かした景観づくり

新たな価値の
創出に向けて



市民生活の質を向上させるスマートシティ

- データ連携プラットフォームの構築
- ローカル5G*の普及促進



都市拠点の機能強化による環境配慮型都市の実現

- 特定エリアでのゼロカーボンの実現
- エネルギーマネジメントシステムの普及促進

関連する個別計画等

QR

都市計画マスタープラン、環境基本計画、立地適正化計画、土地利用制度の活用方針 など

人と自然にやさしいまちづくり



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 ユニバーサルデザイン*のまちづくり

- ユニバーサルデザインの理解の促進
- ユニバーサルデザインの視点に立ったまちづくり

2 都市緑化の推進



- みどり豊かなまちなみの形成
- 都市農地の保全の推進
- 緑地の計画的な維持管理の遂行
- 開発事業者に対する自発的な緑化意識の醸成

3 住宅・住環境の整備



- 誰もが快適に暮らすことができる住宅・住環境の整備促進
- 住宅・住環境の快適性を向上させる環境共生型、低炭素型住宅の普及促進
- 重層的な住宅セーフティネットの構築
- 分譲マンションの適正な管理の促進
- 地域の実情に即した空き家の利活用の促進

4 公園・緑地の整備と維持管理

- 憩いの場としての公園・緑地の整備推進
- 地域住民との協働による公園づくり
- 公園・緑地の適正な維持管理の推進



新たな価値の
創出に向けて



先端技術を活用した人と自然にやさしいまち

- 都市緑化・公園管理におけるA I*・I o T*等の活用
- スマートウェルネス住宅*の推進



みどりとデジタル技術を活用したまちづくり

- 都市緑化によるヒートアイランド対策
- Z E H*などの省エネルギー住宅の推進

関連する個別計画等

QR

都市計画マスタープラン、住宅マスタープラン、みどりの基本計画 など

強さとしなやかさを持ったまちづくり



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 防災・減災機能の強化



- 延焼を防ぐ災害に強い都市基盤整備の推進
- 土地区画整理事業等による防災・減災のまちづくり
- 緊急輸送道路沿道建築物の耐震化促進
- 住宅のレジリエンス性能（防災機能）の向上への支援
- 防災機能を備えた都市公園の整備推進
- 国や東京都との連携による河川・水路等の整備推進
- 地域と協働で行う流域治水の取組強化
- 「盛土規制法」に対応した取組の推進
- 開発許可権限を活かした良好な宅地の整備
- 災害復興を見据えた計画的な事前防災まちづくり

2 災害予防・対策の強化



- 地域と連携した危機管理体制の強化
- 災害予防、災害応急対策等の一連の防災活動の実施
- 鉄道事業者、企業、医療機関等との災害時応援体制の強化
- 広域災害に備えた自治体間共助の強化

3 災害情報収集・伝達の強化



- 適正・迅速な情報伝達に向けた災害情報集約の一元化推進
- 防災情報伝達手段の複線化の推進

4 復旧・復興体制の整備



- 震災復興マニュアルの適時適切な見直し
- 被災者への住宅支援や生活再建支援を行う体制づくり
- 復興活動の手順や技術的知識の習熟に向けた復興訓練など、事前復興対策の推進
- 災害廃棄物処理体制の強化

新たな価値の
創出に向けて



防災・減災DXによるレジリエントな地域社会

- ドローンなどの先端技術を活用した防災・減災対策の充実
- デジタルサイネージ*の導入
- SNSなどを活用した情報伝達ツールの導入



自然調和型で災害に強いまちづくり

- 総合的な治水対策
- 公共施設における太陽光発電・蓄電池システムの導入

関連する個別計画等

QR

都市計画マスタープラン、地域防災計画、国土強靱化地域計画、水循環計画、地域福祉計画 など

安全で安心な暮らしを守る体制・対策の強化



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 生活安全対策の充実

- メール・SNSを活用した防犯情報の配信、防犯パトロールの強化
- 特殊詐欺被害防止対策の推進
- 駅周辺でのつきまとい勧誘行為等への指導及びパトロールの強化
- 再犯防止に向けた取組の推進
- 暴力団排除活動の推進

2 連携体制の強化

- 生活安全対策を推進するための警察等の関連団体との連携強化
- 再犯防止の取組を推進するための国・東京都・民間協力者等との連携強化

3 地域防犯力の強化

- 特殊詐欺被害防止対策の啓発
- 町会・自治会等に対する防犯講習会の実施及び防犯活動の支援
- 防犯協会の活動支援



新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術による安全・安心な暮らし

- 防犯情報ネットワークの構築
- サイバー犯罪対策



環境に配慮した防犯対策の推進

- 地域の活動団体や住民のエコアクションの促進

安全で円滑な交通環境の構築



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 交通結節点の整備



- 交通環境改善に向けた主要駅周辺の整備
- 駅利用者の安全性向上に向けたホームドアの設置促進

2 道路交通網の整備



- 広域幹線道路の整備促進
- 幹線道路ネットワークの充実

3 道路・橋りょうの維持管理

- 狭い道路の拡幅や道路施設の改良整備の実施
- 地域の実情に配慮した通学路などの安全対策の強化
- 地域住民による道路アドプト制度*の推進
- 道路の計画的な予防保全型維持管理の実施



新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術を活用した安全で円滑な交通環境

- 交通ビッグデータの活用
- 先端技術を活用したインフラの維持管理



環境負荷の少ない安全な交通環境の整備

- ウォークアブル*なまちづくり
- 街路樹の適正管理や街路灯のLED化

快適に移動できる公共交通基盤の形成



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 地域公共交通の確保



- 利用しやすい路線バスの環境整備
- 持続可能なはちバスの運行
- 交通空白地域における移動手段の確保

2 多様な移動手段の確保



- 公共交通等との連携による自転車駐車場の整備推進
- 観光振興・健康づくり・環境配慮につながる自転車利用の促進
- 安全な自転車利用に向けた走行環境の整備推進
- 多摩都市モノレール八王子ルートの実現に向けた関係機関への働きかけ
- 新技術を活用した新たなモビリティサービスの導入促進

3 交通安全教育の推進

- 子どもと高齢者の交通安全の確保
- 交通安全意識の向上に向けた交通安全教育の推進
- 自転車の安全利用及び二輪車の安全対策の推進
- ながら運転や飲酒運転等の根絶に向けた周知・啓発の強化
- 歩行中の交通事故防止に向けた歩行者、運転者へのルール・マナーの啓発



新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術による
持続可能で快適な地域公共交通ネットワーク

- モーダルコネクト*の強化
- MaaS*の社会実装



環境と共生した地域公共交通ネットワークの実現

- 環境負荷の少ない公共交通機関や自転車利用の促進
- EV*等への転換の促進

関連する個別計画等

QR

都市計画マスタープラン、交通マスタープラン、交通安全計画、公共交通計画 など

八王子を支える地域産業の基盤強化



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

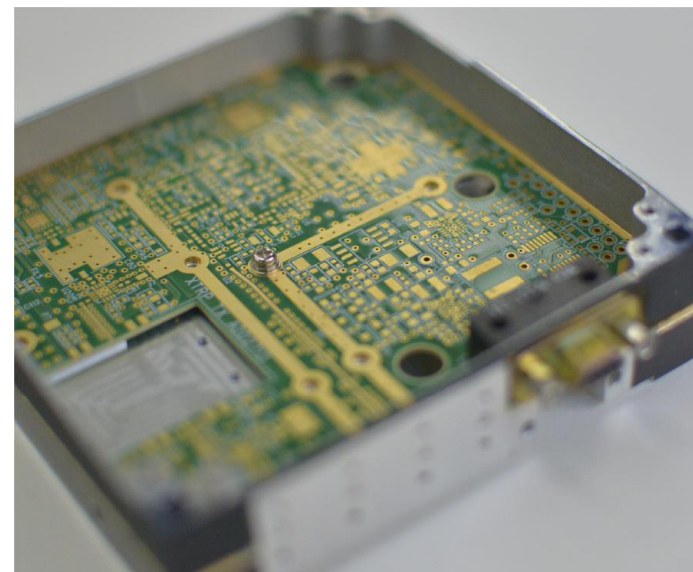
1 中小企業の経営力強化



- 技術革新やイノベーション創出などに取り組む中小企業の支援
- 企業間のマッチングによる課題解決や新たな価値創造を推進
- 実装化に向けた実証実験の支援
- 事業承継等の経営課題解決に向けた支援

2 産業連携の推進

- 大学や地域金融機関、各種産業支援機関等との連携の推進
- 国や東京都との連携による産業振興施策の展開



新たな価値の
創出に向けて



地域発のデジタルイノベーション

- 中小企業のDXへの取組に対する支援
- 先端技術の活用や実証実験等が実施しやすい環境整備



地域産業における持続可能性の確保

- 中小企業の脱炭素経営の支援

関連する個別計画等

QR

産業イノベーションプラン～Beyond2030～ など

人材が活躍できる働く環境の整備



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 多様な働き方の推進



- 働きやすい環境づくりや制度づくりの支援
- サテライトオフィスの設置や利用促進
- ワーク・ライフ・バランスの機運醸成
- 福利厚生制度を向上させる取組の支援

2 働く機会の創出



- 副業、兼業などを促進するための仕組みづくり
- 転職人材や未就労人材へのマッチング機会の提供
- 子育て期、定年退職後などライフステージに応じた就労支援

3 産業人材の育成



- 大学等との連携によるリスキリング*・リカレント教育*の促進
- プロボノ*を利用した実践的な学習の推進



新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術を活用した多様な働き方

- コワーキングスペースの整備促進
- ワークেশョン*、ブレジャー*等の普及促進



環境にやさしい働き方の推進

- 多様で柔軟な働き方による環境負荷の低減促進

地域活性化に向けた産業イノベーションの創出



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 共創による新たなビジネスの創出



- 公民共創プラットフォームの構築による新たなビジネスの創出促進
- 広域的かつ多様な産業交流の促進によるイノベーションの創出

2 イノベーション拠点の形成



- イノベーションの創出
- 先端ものづくり産業の交流支援
- 産学連携・企業間連携の支援

3 企業立地の促進



- 本市の強みを活かした企業誘致と市内企業の流出防止
- 既存用地の土地利用転換を含めた新たな業務用地の確保

4 成長産業の創出



- 起業・創業に向けた支援と企業の成長段階に応じた支援

5 地域・社会課題解決型ビジネスの創出



- 事業者における地域・社会課題解決型ビジネスへの取組支援
- ソーシャルビジネス・コミュニティビジネス*の創業・運営支援



新たな価値の
創出に向けて



共創による新たなデジタルイノベーション

- イノベーションの創出につながるオープンデータ*の推進
- 先端技術の活用や実証実験等が実施しやすい環境整備



環境分野におけるビジネスやイノベーションの創出

- 産学官民による共創の推進
- シェアリングエコノミーの推進

にぎわいを創出する産業の振興



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 中心市街地の活性化の推進



- 回遊性向上に向け、多様な魅力を持つ空間や機会の創出

2 商業の振興

- 魅力ある個店づくりに取り組む意欲的な事業者の支援
- 新たな商品展開や販路拡大に取り組む意欲的な事業者の支援

3 観光地域づくりの推進



- 日本遺産や特色ある地域の文化財・産業を活用した文化観光、産業観光の推進
- 多くの人々が訪れたい観光資源としての磨き上げと魅力の発信
- 広域連携による観光の発信力の向上
- 地域の関係者が主体となる観光施策の実施
- 地域交流の核となる魅力的な観光拠点の再生によるにぎわいの創出

4 MICE*誘致の強化



- MICE誘致に向けた活動方針の遂行
- 地域の事業者との連携によるMICE開催者のサポート体制の充実
- ユニークベニュー*などの開発によるMICE開催地としてのプレゼンスの向上



新たな価値の
創出に向けて



地域の魅力のブランド化と稼ぐ地域

- 地域産業・観光資源の魅力発信
- デジタル技術を活用したMICE開催の支援



地域経済と環境の好循環の創出

- 環境に配慮したMICE開催の機運醸成
- エコツーリズム*・サステナブルツーリズム*の普及促進

農林業と都市の共生



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 農業の振興



- 農業関係団体や産学官民連携による担い手不足の解消
- 農業関係施策の効果的な情報発信による新規就農者支援
- 遊休農地・耕作放棄地の解消と農地保全
- スマート農業*の促進
- 農福連携*によるソーシャルファーム*の開設支援
- 道の駅八王子滝山の設備環境の向上

2 林業の再興



- 持続的な森林経営に向けた、東京都や森林関係団体との連携による森林循環の促進
- スマート林業*の促進
- 多摩産材の利用拡大に向けた魅力の発信
- 公共建築物などへの木材利用の推奨
- 森林管理による防災機能の維持



新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術を活用した持続可能な農林業

- スマート農業・林業の普及促進
- 都市農業の魅力発信による担い手の創出



地球温暖化対策につながる農林業の推進

- 多摩産材等の利用促進による森林再生
- 地域農業を担う若い新規就農者の確保・育成

環境を守り育む人づくり



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 環境教育・環境学習の推進



- いつでも誰でも学ぶことができる環境教育・環境学習の推進
- 市民・事業者・大学などと連携した、体験型環境教育・環境学習の充実
- 環境教育・環境学習の拠点（プラットフォーム）の構築
- 未来の環境像を考えた環境問題意識向上に向けた情報の提供・収集・活用

2 環境人材・ネットワークづくり

- 地域の環境保全活動の推進力となる、環境市民会議の持続可能な活動に対する支援
- 里山や森林、水辺など地域における環境保全活動を担う人材の育成・活用
- 産学官民で連携した環境保全ネットワーク構築
- 環境課題の解決に向けた地域プラットフォームの形成



新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術を活用した環境配慮行動の啓発

- CO₂削減ポイント等による脱炭素行動の促進
- 家庭におけるCO₂排出量の見える化の促進



環境人材による脱炭素への取組推進

- 地球温暖化防止活動推進員などによる市民向け講座の開催充実
- デジタル技術を活用した普及啓発の促進

関連する個別計画等

QR

環境基本計画 など

オール八王子で取り組む脱炭素に向けたまちづくり



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 CO₂排出量の削減



- 市民・事業者・行政が一丸となった地球温暖化対策の推進
- 地球環境への負荷が少ない生活スタイルの実現
- 事業者との脱炭素に向けた都市づくりの推進
- ZEV*化の推進などによる電動車の普及促進



2 再生可能エネルギーの普及促進



- 公共施設における再生可能エネルギーの積極的な活用
- 再生可能エネルギーの普及・活用の促進



新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術の活用による脱炭素社会

- デジタル技術を組み合わせた環境にやさしい住環境の普及促進
- 先端技術の活用や実証実験等が実施しやすい環境整備



ゼロカーボンシティの実現に向けた オール八王子での地球温暖化対策の推進

- 職員の意識改革及び率先したエコアクションの徹底
- 公共施設における再生可能エネルギーの積極的な活用
- ZEV化の推進などによる電動車の普及促進

関連する個別計画等

QR

環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画、都市計画マスタープラン など

地球にやさしい循環型社会の形成



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 ごみの発生抑制・資源化



- 食品ロス削減及び全てのプラスチック資源化の推進
- 地域や事業者の力を活用した、きめ細かなごみ・資源物処理体制の構築
- 市民・事業者に寄り添ったごみ減量・分別の丁寧な啓発活動の実施

2 廃棄物処理の最適化



- 環境負荷低減型の安定したごみ・資源物処理体制の構築
- ごみ・資源物処理の効率化に向けた企業との連携強化
- ごみ・資源物処理の広域化・集約化及びし尿処理の広域化・共同化の検討
- 産業廃棄物の不適正処理の防止に向けた指導等の実施



新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術を活用した
地球にやさしい循環型社会

- 先端技術を活用した廃棄物処理の最適化
- デジタル技術を活用したごみの減量



脱炭素実現に向けた循環型社会の形成

- ごみ排出量の削減及び資源化の推進
- ごみ収集運搬における環境負荷の低減推進・促進

関連する個別計画等

QR

環境基本計画、ごみ処理基本計画 など

未来に潤いをもたらすみどりと生物多様性の保全



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 みどりの保全・活用



- 市街地周辺の良好なみどりの保全
- 地球温暖化対策や生物多様性*確保のための森林・里山の管理・活用の促進

2 水辺空間づくり

- 水と親しみ、憩うことができる水辺活用の推進
- 多種多様な生きものが生息できる水辺づくりの推進

3 生物多様性の保全



- 生物多様性に対する市民の理解と関心の向上
- 多種多様な生きものが生息できる自然環境の保全
- あらゆる施策と関連した持続可能な地域環境の構築
- 地域や関連機関と連携した外来種対策の推進



新たな価値の
創出に向けて



豊かな生態系とデジタル技術の融合による
潤いのある社会

- 生物多様性に関するデータの活用
- スマート林業*によるみどりの保全



みどりと生物多様性の保全による
CO₂吸収機能の強化

- 市民・事業者との協働による森林・里山の保全
- 豊かな自然を支える生物多様性の保全

安全で良好な生活環境の確保



2030年度に向けた施策の展開（細施策）

1 水循環の再生と水質保全

- 市民・市民活動団体・事業者との連携による湧水・河川等の保全・活用
- 地下水涵養の推進
- 河川等の良好な水質確保のための適正管理・指導の実施
- 安定した下水道サービスのもとでの管路施設等の維持・更新

2 生活環境の保全

- 公害の規制指導及び自然環境に配慮した工場への転換・誘導による大気汚染の防止
- 有害物質や騒音・振動に対する工場・事業場への規制指導の実施
- 不良な生活環境の発生防止・改善支援



新たな価値の
創出に向けて



デジタル技術を活用した安全で良好な生活環境

- 生活環境の向上に向けたデータ活用の推進
- 下水道管理における先端技術の活用



水循環の再生と生活環境の保全

- 地下水涵養・保全の推進
- 事業者のエコアクションの促進

～目指すまちの姿とブランドメッセージ～

ブランドメッセージ「あなたのみちを、あるけるまち。八王子」

平成31年（2019年）3月、子どもたちを含めて、25,000人の市民の皆さんによる投票で決定しました。

ブランドメッセージは、このまちをもっと元気にする合言葉です。

「だれかのみちではなく、あなた自身のみちをあるいていけるまち。だから居心地がよく、まちのために何かしたいと思う。」
そんな仲間をふやしていくための合言葉として、みんなで共有し、活用していくものです。

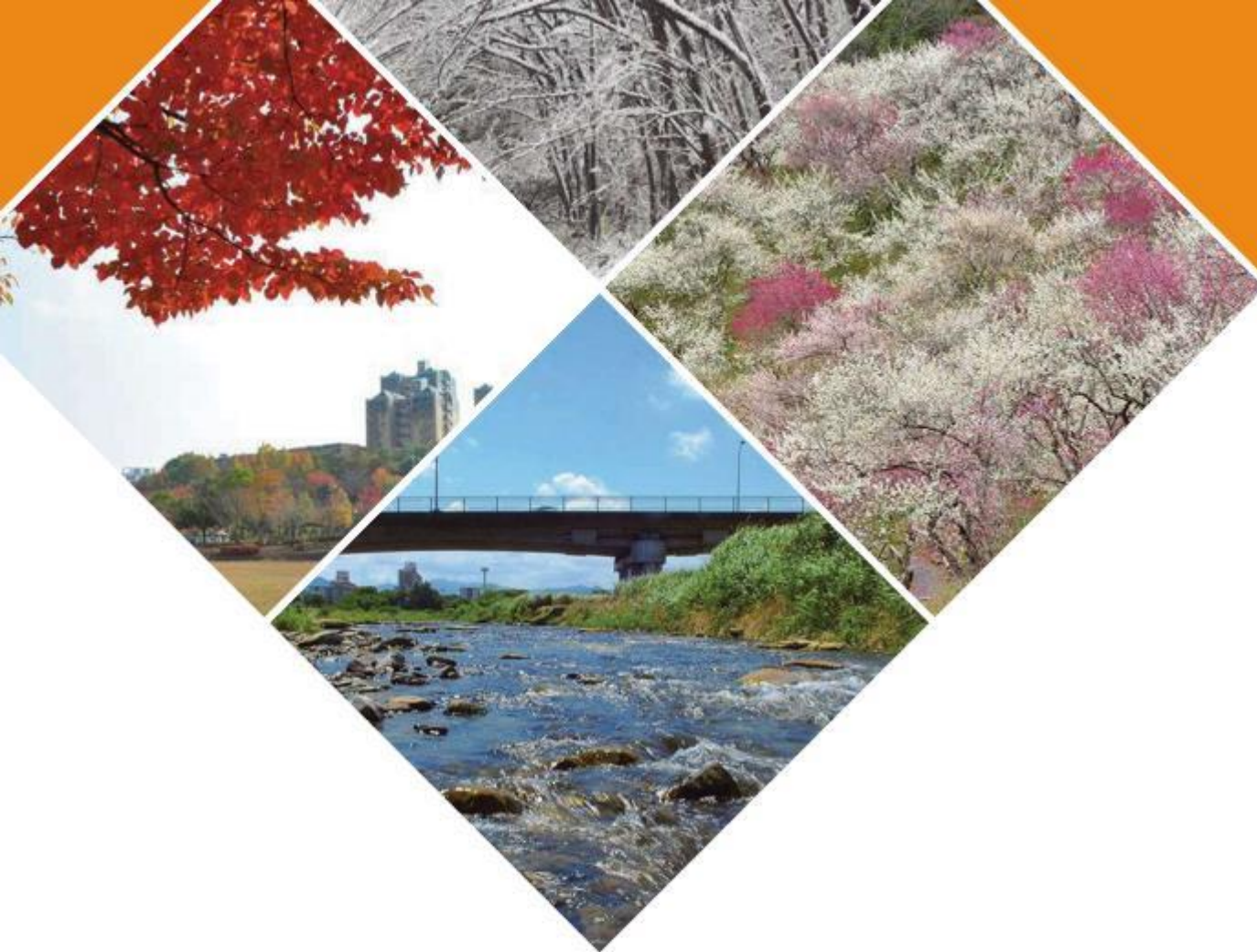
基本構想において、目指すまちの姿である「都市像」の実現は、本市の多彩な魅力をより一層高めるとともに、自分の生き方や生活に合うみちを選んで、あるき続けられることにつながっていきます。



八王子市役所の正面玄関：
“八”がブランドメッセージと
同じ靴を履いています。



あなたのみちを、
あるけるまち。
八王子



基本構想

平成24年(2012年)12月19日議決

1 基本構想の趣旨

この構想は、首都圏西部の中核的都市である八王子市が、将来を見据えたまちづくりの目標を定めるとともに、その実現に向けて、総合的かつ計画的にすすめる市政運営の基本となるものです。

ここに掲げるまちづくりの基本理念と都市像は、本市を自立した都市として発展させていくための基本的な運営指針であるとともに、あらゆる市民の諸活動のよりどころとなるものです。

2 まちづくりの基本理念

「人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子」

私たちのまち八王子は、四季の変化に富み美しい夕焼けに映える高尾・陣馬の山並みや、清らかな源流を集めて流れる浅川などの自然に生まれ、古くから交通の要衝として多彩な人々が交流し、先人たちが知恵を重ねながら発展してきました。

私たちは、この豊かな自然と歴史を次世代に継承し、そして人々が支えあい、信頼の絆でつながり、生きる喜びを感じられる新たな時代に向けてまちづくりの基本理念を定めました。

この基本理念のもと、市民と行政が互いの役割と責任ある行動により豊かな地域社会を築く協働のまちづくりをすすめ、活力あふれる自立都市の実現を目指します。

3 都市像（私たちが目指すまち）

まちづくりの基本理念に基づき、主要な政策別に次のとおり6つの都市像を定めます。

みんなで担う公共と協働のまち

健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち

活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち

安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち

魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

「人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子」



4 都市像（私たちが目指すまち）実現のための基本方針

（１）みんなで担う公共と協働のまち

八王子市は、人とひととのつながりが育まれ、誰もが生きがいを感じられるまちづくりをすすめます。そのため、市民と行政の相互理解のもと、それぞれの役割と責任により協働することを行政運営の基本としながら、住民自らが住みよいまちづくりを行えるよう、地域コミュニティ活動を活性化させていきます。

また、持続可能な行財政運営により「私たちが目指すまち」を計画的に実現していきます。

① 市民自治の推進

幅広い世代の誰もが地域活動に気軽に参加でき、住民同士がつながりを育み、活き活きと活動できるよう、地域コミュニティ活動を支援します。

また、市民の市政への主体的な参加を促進するため、参加しやすい環境整備をすすめ、様々な市民や団体の特性を活かした市民協働をさらにすすめていきます。

② 市民が納得できるサービスの提供

市民との協働のまちづくりをすすめていくために、広報・広聴活動を充実するとともにICT（情報通信技術）の活用などにより、市民が市政情報や政策課題を共有できる仕組みを整え、行政との相互理解を深め、市民が納得できるサービスの向上に努めます。

③ 地方分権時代にふさわしい行財政運営の推進

自立した都市の実現に向け、地域の特性を活かし市民ニーズに応える地方分権を積極的にすすめます。また、財政規律に基づいた健全な財政運営と、社会情勢の変化に対応した効果・効率的な行政運営に取り組み、「私たちが目指すまち」を計画的に実現していきます。

(2) 健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち

互いに人権を尊重し、平和で心豊かに暮らせる社会の実現と、誰もが住み慣れた地域でともに支えあい、活き活きと安心して暮らせる地域福祉の向上を目指したまちづくりをすすめます。

また、市民が生涯を通じて健康を維持・増進できるよう、保健・医療・福祉施策の充実に努めます。

① 誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進

一人ひとりの人権が尊重され、互いに個性と能力が発揮でき、誰もが平和で心豊かに暮らせる社会を目指します。

また、市民が安心して日常生活を送れるよう、暮らしの相談・支援の充実に努めます。

③ 保健医療の充実

市民が生涯を通じて自ら健康づくりに取り組み、住み慣れた地域で心身ともに健康で安心して暮らせるよう、保健・医療・福祉の連携を強化し、保健医療の充実に努めます。

② 誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり

地域の幅広い世代の様々な人々が交流し、支えあうことで、生きがいを感じることができ、高齢者・障害者やその家族が住み慣れた地域でともに安心して暮らせる地域福祉を推進します。

(3) 生き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち

家庭・地域・学校がともに手を携え、子どもの成長を支えることで、子育て家庭や周囲の人々も生き活きと暮らせるまちづくりをすすめます。

学校では、子どもたちが意欲を持って学び、豊かな社会性を身に付け、心身ともに健やかに成長できるよう、学校教育を充実していきます。

また、市民の誰もがスポーツや学びを通して豊かなつながりを育んでいけるよう、生涯学習を推進していきます。さらに、文化の振興をはかるとともに、次世代へ継承していきます。

① 全ての子どもが健やかに育つ地域づくり

安心して子どもを生み、育てやすい環境を整え、子どもが心身ともに健やかに成長できる子育て・子育て支援の充実に努めます。

また、子どもが地域の様々な人々とかわることで多様な価値観を学び成長できるよう、地域で子どもを育てる環境づくりをすすめます。

② 未来をひらく子どもを育てる教育

児童・生徒一人ひとりに向き合った指導により、子どもたちが意欲を持って学び、生き活きと学校生活を送れるよう努めます。

また、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちを育むとともに、学校が持つ教育資源を活用し、地域活動を行うきっかけとなる学校づくりをすすめます。

③ 学びを活かせる生涯学習の推進

誰もが、いつでも、どこでも学べ、学んだ知識や経験を地域で活かし、市民同士がつながりを育むことができる生涯学習環境の充実に努めます。

また、スポーツ・レクリエーションが生活の一部として定着し、市民が生涯を通じて健康で生き活きと暮らせるよう、スポーツ・レクリエーションの場や機会の充実に努めます。

④ 未来につながる文化の継承と創造

市民同士が文化活動の輪を広げ、新たな文化を育んでいけるよう、市民文化の振興をはかります。

また、誰もが八王子に誇りと愛着を感じられるよう、伝統文化にふれる機会の充実に努め、市民とともに歴史と伝統文化を次世代へ継承していきます。

さらに、市民が多様な国と地域の文化を理解し、新たな交流につなげていく文化交流を推進していきます。

(4) 安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち

豊かな自然や歴史的景観などの恵まれた財産や交通の要衝としてのポテンシャルを活かした持続可能な社会の実現を目指し、快適に暮らせるまちづくりを市民とともにすすめます。

また、都市の防災機能を強化するとともに、環境にやさしく安全で利便な都市型交通網を整備し、首都圏西部の中核的都市にふさわしい都市機能の拡充をはかります。

① 自然と共生し地域の多様性を活かしたまちづくり

高齢化の進展や人口減少など社会情勢の変化を見据えた、持続可能なまちづくりを計画的にすすめるとともに、地域の活力と魅力の創出に資する国・都の未利用地の利活用や主要駅周辺整備により、にぎわいを創出していきます。

また、良好な都市景観の形成を推進し、誰もが快適に暮らせるよう、ユニバーサルデザインのまちづくりや身近に緑を感じられる都市緑化に取り組みます。

② 地域力を活かした安全で安心なまちづくり

災害から市民の生命や財産を守るため、災害に強い都市基盤整備を計画的にすすめていくとともに、大規模災害に迅速かつ的確に対応するため、関係機関との連携など防災体制を整えます。

また、市民が安全で安心して日常生活を送ることができるよう、自助・共助体制を整え、地域の防災・防犯機能を強化します。

③ 快適で人にやさしい交通環境づくり

利用者の利便性の向上や交通渋滞を緩和するために、道路交通網などの整備を計画的にすすめるとともに、自動車から公共交通への利用転換を推進します。

また、安全な道路環境の整備をすすめ、交通安全対策の充実に努めるとともに、環境負荷の少ない自転車への転換を推進します。

(5) 魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

交通の要衝として発展してきた八王子は多くの産業資源を有しています。これらを活かして産業が多様に結び付き、さらに発展できるよう支援し、地域産業の振興に努めます。また、新たな産業の創出や高度技術の集積化などを推進するとともに、自然に恵まれた八王子独自の地域資源を活かし、首都圏西部の産業・経済の拠点としてにぎわいのあるまちづくりをすすめます。

① 地域経済を支える産業の振興

産業を担う人材を育成するとともに、市や産業支援機関などの持つ強みを相互に活かし、多様な産業が広域的に結び付き発展していけるよう、産業振興の体制を強化していきます。

また、中小事業者支援や企業誘致を推進し、地域経済を活性化させていきます。

さらに、雇用・就労を支援し、安心して働くことができる労働環境を整備していきます。

② まちの活力を創出する産業

製造業や情報通信産業の発展に向け、産学連携や企業同士の連携促進などにより経営基盤の強化や新技術開発などを支援していきます。

また、起業者に必要とされるノウハウの提供や環境・医療・介護などの新産業分野に取り組む事業者に対する技術的課題の解決などに向け取り組んでいきます。

③ まちの魅力を向上させる産業

地域づくりを支える商店街の振興支援を行い、にぎわいのある中心市街地を形成していくとともに、恵まれた地域資源を活かした観光産業の振興をはかります。

また、地産地消を推進するなど都市型農業の確立に努めるほか、地域の名産品の発掘や開発を促進します。

(6) 一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

私たちの生活が自然の恵みにより支えられてきたことを再認識し、地球環境にやさしい社会への転換をはかるとともに、この豊かな自然を次世代へ継承していくため、市民・事業者・行政がともに自らできることを実践し、人と自然が共生した環境負荷の少ないまちづくりをすすめます。

① 一人ひとりが考え、ともに守る環境

自然とのふれあいを通して、大人も子どもも自然環境を守ることの大切さを学び、行動につなげられる機会の充実に努めます。

また、市民・事業者などの様々な団体が連携した地域における環境保全活動を推進します。

② 環境負荷の少ないまちづくり

市民一人ひとりが地球環境にやさしい生活スタイルへの転換をすすめていくとともに、事業者・大学などとの連携により、CO₂排出量の削減や再生可能エネルギーの普及促進に努めます。

また、ごみの発生抑制や資源としての有効利用に取り組み、市民・事業者と一体となって循環型社会を構築していきます。

③ 自然と共生した安全で快適な環境

人と自然が共生する社会を築くため、健全な水循環の再生に努め、みどりを保全していくとともに、大人も子どもも自然に親しみ、憩うことができる環境づくりをすすめます。

また、安全で良好な生活環境を守るため、環境汚染の対策などに取り組みます。

用語解説

調整中

数字	6次産業化	農林漁業者（1次産業）が、農産物などの生産物の元々持っている価値を更に高め、それにより、農林漁業者の所得（収入）を向上していくこと。 また、生産物の価値を上げるため、農林漁業者が、農畜産物・水産物の生産だけでなく、食品加工（2次産業）、流通・販売（3次産業）にも取り組み、それによって農林水産業を活性化させ、農山漁村の経済を豊かにしていこうとするもの。 「6次産業」という言葉の6は、農林漁業本来の1次産業だけでなく、2次産業（工業・製造業）・3次産業（販売業・サービス業）を取り込むことから、「1次産業の1」×「2次産業の2」×「3次産業の3」のかけ算の6を意味している。
	8050問題	80歳代の高齢の親と、50歳代の子どもの組合せによる、社会的孤立などの問題。 背景に、家族や本人の病気、親の介護、離職（リストラ）、経済的困窮、人間関係の孤立など複合的課題を抱えている。親子の高齢化・長期化により、9060問題へと移行し始めている。
アルファベット	AI	Artificial Intelligenceの略で、人間の知的営みをコンピュータに行わせるための技術のこと、人間の知的営みを行うことができるコンピュータプログラムのこと、又は人間の脳が行っている知的な作業をコンピュータで模倣したソフトウェアやシステムのこと。
	API	Application Programming Interfaceの略で、プログラムの機能をその他のプログラムでも利用できるようにするための規約であり、特定の機能を利用することができる。
	BPR	Business Process Reengineeringの略で、既存の業務プロセスを詳細に分析して課題を把握し、全体的な解決策を導き出すこと。
	EBPM	Evidence-Based Policy Makingの略で、統計や業務データなどの客観的な証拠に基づく政策立案のこと。
	EV	Electric Vehicleの略で、蓄電池に蓄えた電気で動力源となる電動モーターを駆動する自動車のこと。従来の自動車のようにエンジンで燃料を燃焼することがないため、走行中にCO ₂ などの温室効果ガスや窒素酸化物などを排出しない。

アルファベット	ギ ガ G I G Aスクール構想	全国の義務教育段階にある児童・生徒に、1人1台の学習用PCを配備するとともに、学校に高速無線LANの整備を行う計画のこと。 「G I G A」はGlobal and Innovation Gateway for Allの略で、「全ての子どもたちにグローバルで革新的な入口を」という意味。
	I o T	Internet of Thingsの略で、身の回りのあらゆるものがインターネットにつながる仕組みのこと。パソコンなどのこれまでもインターネットにつながっていたものだけでなく、エアコンやスピーカーなどの電化製品や、これまでインターネットと無縁だったものがインターネットにつながることで、遠隔操作や制御、認識ができるようになる。
	マ ー ス M a a S	Mobility as a Serviceの略で、地域住民や旅行者一人ひとりのトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるもの。
	マ イ ス M I C E	「企業等主催の会議やセミナー（Meeting）」、「企業等の行う報奨・研修・招待旅行（Incentive Travel）」、「学会・各種団体等が行う会議や総会（Convention）」、「展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）」の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。
	Society 5.0	サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会のこと。
	ゼ ブ Z E B	Net Zero Energy Buildingの略で、建築物における一次エネルギー消費量を、省エネルギー性能向上や再生可能エネルギーの活用などにより削減し、年間消費量が正味でゼロ又はおおむねゼロとなる建築物のこと。
	ゼ ッ チ Z E H	Net Zero Energy Houseの略で、住宅における一次エネルギー消費量を、省エネルギー性能向上や再生可能エネルギーの活用などにより削減し、年間消費量が正味でゼロ又はおおむねゼロとなる住宅のこと。
	ゼ ブ Z E V	Zero Emission Vehicleの略で、「無公害車」を意味し、狭義においては排ガスを一切排出しないEV（電気自動車）やFCV（燃料電池自動車）のこと。

ア 行	アドプト制度	道路や公園等公共施設の一部区域の維持管理について市で行っていたものを、市民団体や企業等の団体が「里親」となり、「養子」となった施設の一部区域を団体が責任を持って維持管理を行っていく制度。
	ウォーカブル	「walk（歩く）」と「able（できる）」を組み合わせた造語。ここでは「居心地が良く歩きたくなる」意。
	エコツーリズム	自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のありかたのこと。
	エシカル消費	地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のこと。（エシカル＝倫理的・道徳的）
	オープンデータ	行政が所有し、限られた場所でのみ利用されているデータを、自由に活用できるようにすること。これにより、有益な情報の活用がすすみ、地域産業等において情報が活用されることで新サービスの創出が期待される。
カ 行	活動人口	定住人口・関係人口に内在し、経済活動とは異なる価値基準を含め何らかの形で、地域の社会・経済活動に継続的にかかわる者のこと。
	関係人口	特定の地域に継続的に多様な形でかかわる者のこと。
	クラウド	ユーザ（企業、個人など）がインターネットなどの通信回線を通じて遠隔地にあるデータセンター等に用意された情報システムのサービスを受けることを可能にしたコンピュータ技術のこと。
	グリーンインフラ	社会資本整備や土地利用などのハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能（生物の生息の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制など）を活用すること。
	心のバリアフリー	様々な心身の特性や考え方を持つ全ての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支えあうこと。
サ 行	サービスデザイン思考	サービスの現状における課題を、利用者目線で解決し、より良い状態に変えること。サービスデザイン思考では、サービスの受け手側の立場を考慮した調査・分析から得られる利用者の「本質的なニーズ」に基づき、サービス・業務を設計・開発する。
	サステナブルツーリズム	訪問客、産業、環境、受け入れ地域の需要に適合しつつ、現在と未来の環境、社会文化、経済への影響に十分配慮した観光のこと。
	サプライチェーン	ある製品が、原料の段階から消費者に至までの全過程のつながりのこと。供給網。

サ 行	シビックプライド	都市に対する市民の誇りのこと。
	スタートアップ	新しいビジネスモデルを考えて、新たな市場を開拓し、社会に新しい価値を提供したり、社会に貢献することによって事業の価値を短時間で飛躍的に高め、株式上場や事業売却を目指す企業や組織のこと。
	スマートウェルネス住宅	高齢者、障害者、子育て世帯等の多様な世帯が安心して健康に暮らすことができる住環境のこと。
	スマート農業	ロボット技術や情報通信技術を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業のこと。
	スマート林業	地理空間情報やＩＣＴ等の先端技術を活用し、森林施業の効率化・省力化や、需要に応じた木材生産を可能とする林業のこと。
	生物多様性	多種多様な生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。
	ソーシャルビジネス・コミュニティビジネス	地域社会の課題解決に向けて、住民、ＮＰＯ、企業など、様々な主体が協力しながらビジネスの手法を活用して取り組むこと。
	ソーシャルファーム	一般的な企業と同様に自律的な経営を行いながら、就労に困難を抱える方が、必要なサポートを受け、他の従業員とともに働いている社会的企業のこと。
タ 行	ダブルケア	晩婚化と出産年齢の高齢化による育児と介護に同時に携わる際の負担などの問題。
	地域共生社会	制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに創っていく社会。
	知的対流拠点	地域の魅力ある「しごと」の内発的な創出・発展に向けて、自治体や地域の様々な主体が連携して知恵やアイデアを出し合い、実際の活動に昇華させていく場。
	デジタルアーカイブ化	有形・無形の文化資源（文化資材・文化的財）等をデジタル化して記録保存を行うこと。
	デジタルサイネージ	公共空間や交通機関等の様々な場所でディスプレイ等の電子的な表示機器を使って情報発信を行うシステムであり、広告・宣伝等に利用される。
	デジタルデバイド	日本語では、「情報格差」を意味し、デジタル技術を利用できる人と利用できない人との間に生じる格差のこと。

ナ 行	ナッジ	対象者に選択の余地を残しながらも、より良い方向に誘導する手法。（nudge：（訳）ひじで軽く突く。）
	ネウボラ	フィンランド語で「アドバイスの場」を意味する言葉。 本市では子育てしやすいまちナンバーワンを目指し、フィンランドでの身近な地域の相談拠点である「ネウボラ」での妊娠期からの切れ目のない子育て支援の仕組みをモデルに、「八王子版ネウボラ」の仕組みづくりに取り組んでいる。
	農福連携	障害者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組のこと。 農福連携に取り組むことで、障害者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化がすすむ農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性もある。
ハ 行	プッシュ通知	一人ひとりに合った行政機関などからのお知らせを個別に通知するサービス。 自治体が行う行政サービスについて、サービスを受けられる可能性がある住民を抽出して、効率的にサービスに係る情報を提供することで、真にサービスの提供が必要な住民に対し、漏れなくサービスに係る情報を提供することができる。
	フレイル	「Frailty（虚弱）」の日本語訳。健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能、口腔機能等の低下が見られる状態のことを指すが、適切な治療や予防を行うことで健康な状態に戻ることも可能である。
	ブレジャー	「Business（ビジネス）」と「Leisure（レジャー）」を組み合わせた造語。出張等の機会を活用し、出張先等で滞在を延長するなどして余暇を楽しむこと。
	プロボノ	企業の社員等が仕事で培った知識・経験を活かして、ボランティア活動を行うこと。
マ 行	モーダルコネクト	日常生活や経済活動を支える重要な基盤である道路ネットワークと多様な交通モードを連携、強化し、利用者が交通を選択しやすい環境を作ること。

ヤ 行	ヤングケアラー	本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども。
	ユニークベニユー	歴史的建造物、文化施設や公的空間等で、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場のこと。
	ユニバーサルデザイン	年齢、性別、国籍、個人の能力等にかかわらず、できるだけ多くの人が利用できるよう生活環境その他の環境を作り上げること。
ラ 行	リエイブルメント（再自立）	「Re-Ablement(再び自分でできるようにすること)」とは、高齢者が自立した在宅生活を継続するために能力の回復・改善・維持をはかる支援のこと。
	リカレント教育	就職してからも、生涯にわたって教育と他の諸活動（労働、余暇など）を交互に行うといった概念。
	リスクリング	新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得すること又はさせること。
	ローカル5G	地域の企業や自治体等が、自らの建物内や敷地内でスポット的に構築する5Gネットワークのこと。
ワ 行	ワーケーション	「Work(仕事)」と「Vacation(休暇)」を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し、普段の職場や自宅とは異なる場所で仕事をしつつ、自分の時間も過ごすこと。余暇主体と仕事主体の2つのパターンがある。
	ワンスオンリー	一度提出した情報は、二度提出することを不要とすること。

八王子未来デザイン 2040

HACHIOJI
FUTURE
DESIGN

八王子市基本構想・基本計画

令和5年（2023年）3月

発行 ㊤ 八王子市

編集 八王子市未来デザイン室

所在地 〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号

電話 042-626-3111（代表）

FAX 042-627-5939

あなたのまちを、
あるけるまち。
八王子

